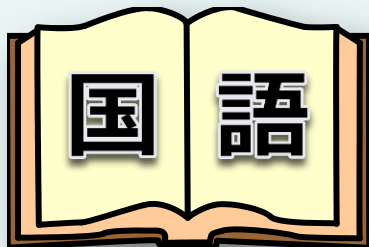
平成２３年度

大阪府学力・学習状況調査

結果分析 【府内公立】

大阪府教育センター

小学校 6 年生

A	
全問題数	17問
正答率	88.1%
誤答率	10.6%
無解答率	1.3%

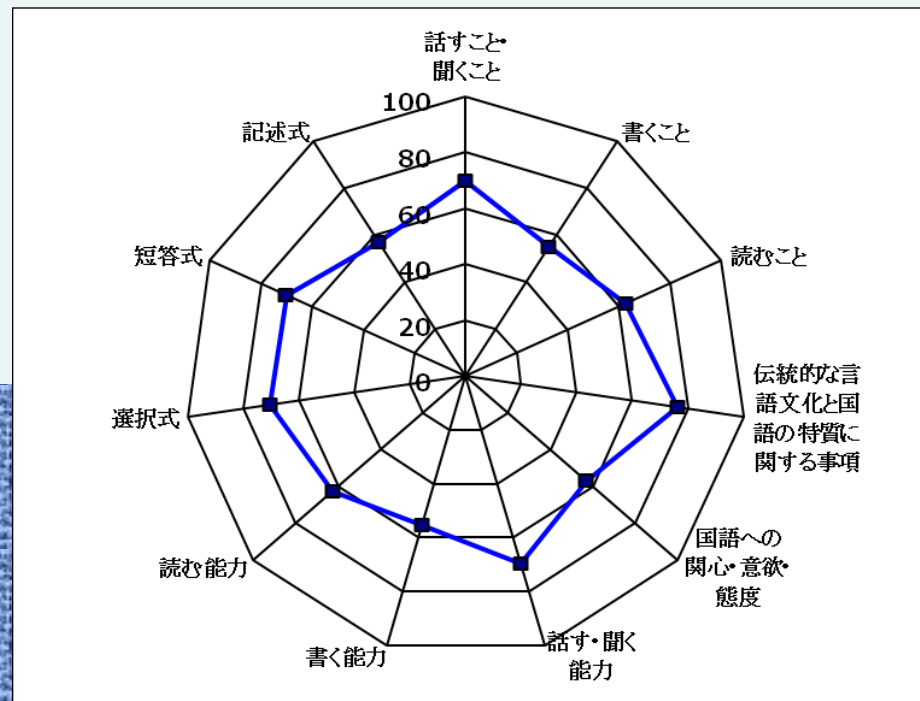
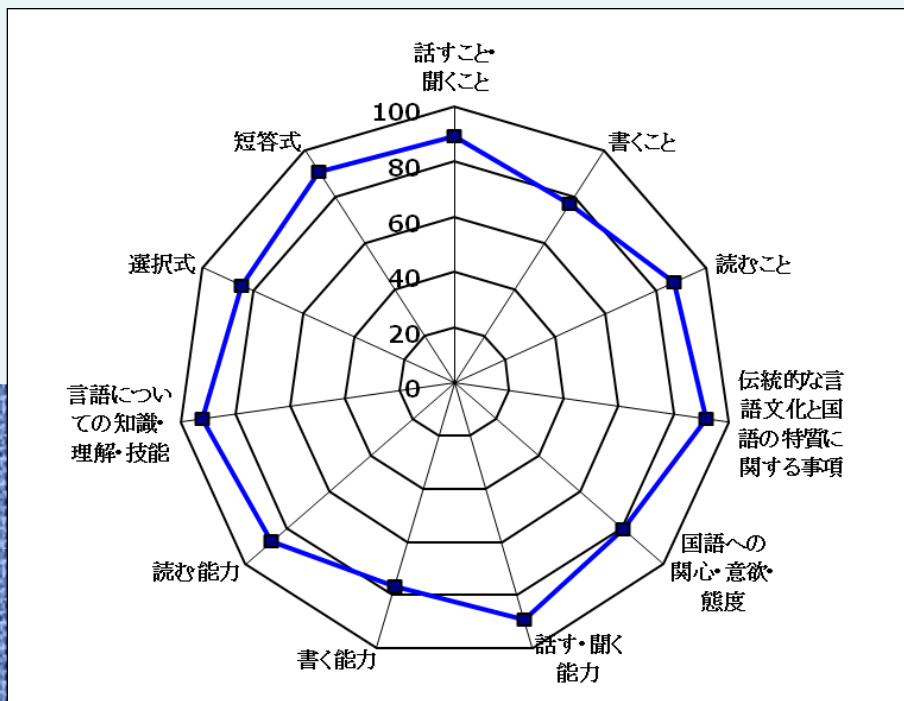
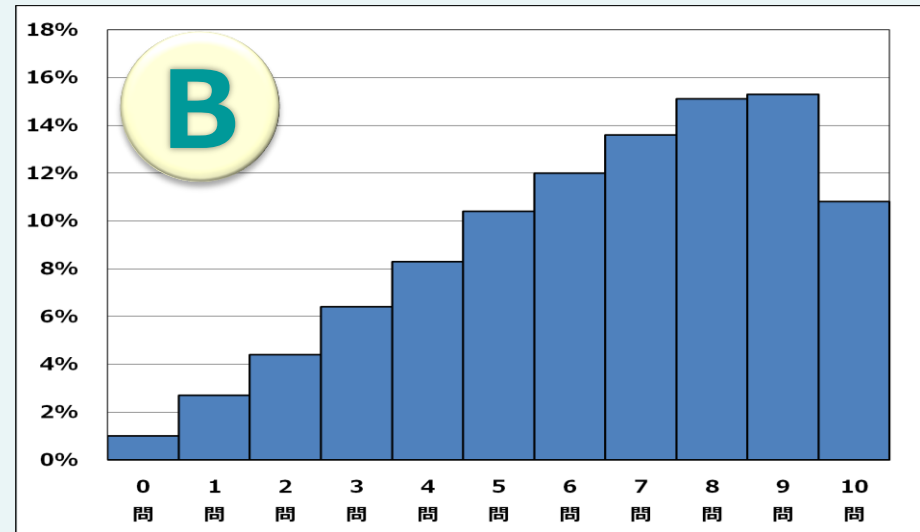
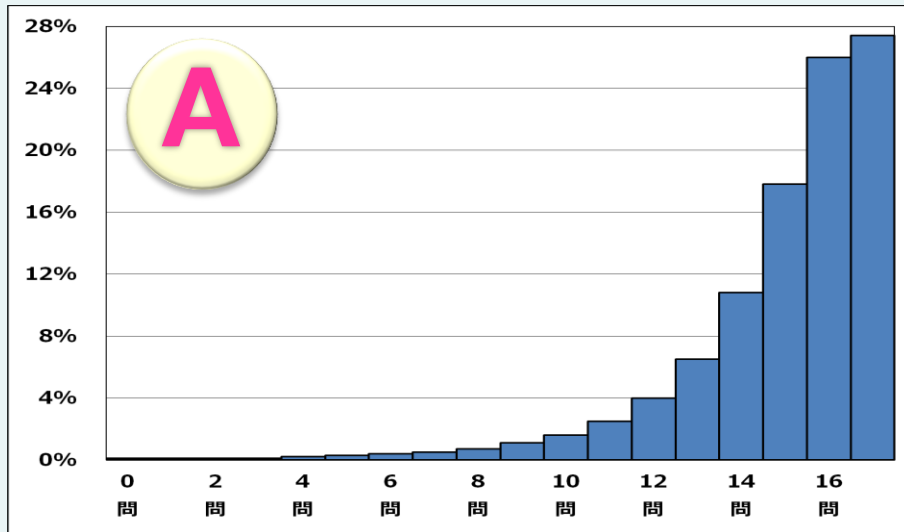
B	
全問題数	10問
正答率	64.9%
誤答率	30.8%
無解答率	4.3%

小学校

領域別
観点別
形式別
正答率一覧表
（府内公立）

分　類	領域・観点・形式	A 平均正答率	B 平均正答率
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	89.2%	69.6%
	書くこと	76.9%	55.1%
	読むこと	87.4%	62.6%
	言語事項	92.1%	76.1%
評価の観点	関心・意欲・態度	80.7%	57.0%
	話す・聞く能力	89.2%	69.6%
	書く能力	76.9%	55.1%
	読む能力	87.4%	62.6%
	知識・理解・技能	92.1%	***
問題形式	選択式	84.4%	70.2%
	短答式	90.7%	70.2%
	記述式	***	57.0%

小学校 第6学年 国語

平成23年度 大阪府学力・学習状況調査
ヒストグラム＋レーダーチャート（府内公立）

小学校　第6学年　国語

	設問	正答	誤答	無解答
1	1 一ア	96.7	2.9	0.4
2	1 一イ	96.4	3.0	0.6
3	1 一ウ	92.2	6.4	1.4
4	1 二①	93.2	5.7	1.1
5	1 二②	79.9	18.4	1.7
6	1 二③	91.6	5.4	3.0
7	2 一ア	96.8	2.9	0.3
8	2 二イ	96.7	2.9	0.4
9	3 一	85.6	13.8	0.6
10	3 二	96.2	3.4	0.4
11	3 三	90.2	9.3	0.5
12	4 一	90.1	8.7	1.2
13	4 二	88.3	11.2	0.5
14	5	93.2	5.8	1.0
15	6	70.0	28.8	1.2
16	7 一	73.1	22.4	4.5
17	7 二	67.7	29.5	2.8

	設問	正答	誤答	無解答
1	1 一	76.1	20.1	3.8
2	1 二	62.9	35.9	1.2
3	2 一	65.1	31.3	3.6
4	2 二	71.7	24.9	3.4
5	3 一	35.0	58.8	6.2
6	3 二(1)	85.9	13.1	1.0
7	3 二(2)	53.5	44.8	1.7
8	4 一	67.8	30.4	1.8
9	4 二	72.6	25.3	2.1
10	4 三	58.6	23.4	18.0

平成23年度 大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果（府内公立）

国語

目的や意図に応じて必要な情報を取り出し、その要点を書く

書くこと

【学習指導要領との関連】

〔第5学年及び第6学年〕 Ｂ 書くこと

オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

考えられる課題

●表現の効果について評価する力

●相手によりわかりやすく伝えるための工夫をする力

選択式	正答率%	無解答率%
A 7 二	67.7	2.8

A区分問題中
正答率は最も低い

◆指導にあたって

☆相手によりよく伝わる表現の工夫や，読み手の立場から書いたものの表現の効果などについて考えさせる。

☆複数の文章や資料を比較して表現の効果を考える学習活動を設定する。

☆文章や資料の書かれ方を，自らの表現に生かしていく学習活動を設定する。

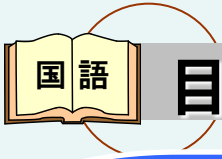
A 7

二 竹中さんは、ポスターを見やすくするために書き方を工夫しています。竹中さんのした工夫として、あてはまらないものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 注目させたいところをわくで囲むこと。

2 日時や場所などをわかりやすく書くこと。

3 イメージを伝えるためにさし絵を入れること。

4 見出しの文字を目立たせること。

目的や意図に応じて、表現を工夫して話す

話すこと・聞くこと

【学習指導要領との関連】

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め，収集した知識や情報を関係付けること。

エ 話し手の意図をとらえながら聞き，自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

考えられる課題

●資料を効果的に提示しながら話す力

●話す内容にふさわしい資料を選び，その理由を説明する力

記述式	正答率%	無解答率%
B 1 二	62.9	1.2

全問題中 誤答率は4番目に高い

◆指導にあたって

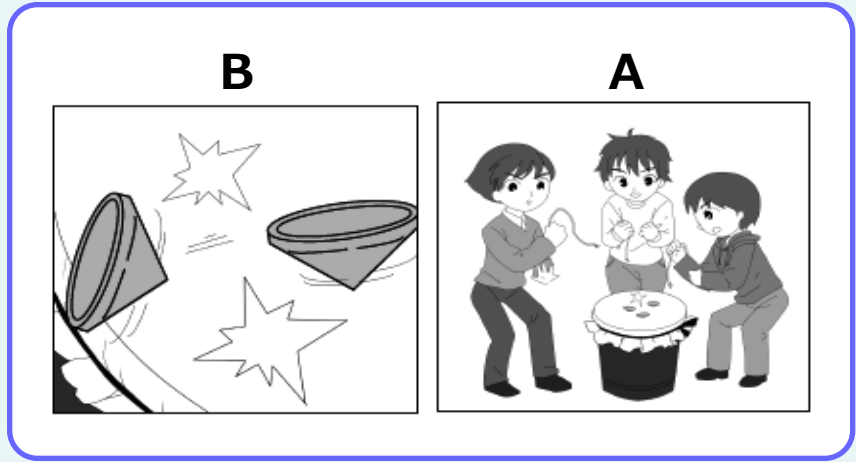
☆聞き手がわかりやすいように，資料を効果的に提示しながら話すような言語活動を設定する。

☆話す内容と提示する資料との整合性を考えて，適切な資料を選択し，それを活用した効果的な話し方を指導する。

B 1

二 村上さんは、【発表原稿】の第3段落のところで見せる絵を二枚用意し、どちらがよいかあなたに相談しました。あなたはどちらがよいと思いますか。 A、Bどちらかを選んで、その記号を解答用紙の□に書きましょう。そして、選んだ理由を、【発表原稿】の内容にふれながら、書き出しに続けて、**六十字以上、九十字以内**で書きましょう。

A

B

目的に応じて必要な情報を適切に取出し、与えられた条件にそって書く

書くこと　読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第5学年及び第6学年〕　B　書くこと

ア　考えたことなどから書くことを決め，目的や意図に応じて，書く事柄を収集し，全体を見通して事柄を整理すること。

〔第5学年及び第6学年〕　C　読むこと

ウ　目的に応じて，文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり，事実と感想，意見などとの関係を押さえ，自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

考えられる課題

- ●複数の資料を関連させて読み取る力
- ●目的や意図に応じて情報を取り出す力
- ●与えられた条件に合わせて書く力

記述式	正答率%	無解答率%
B 3 ―	35.0	6.2

B区分問題中
正答率は最も低い

◆指導にあたって

☆ポスターや取扱説明書などマルチモーダル（複合されたメディア。言葉，文字，絵，写真，映像，図表，グラフなどが混在する資料）の題材を読む機会を設定する。

☆目的に応じて必要な情報を取り出し，限られた字数で，様々な表現様式に合わせて書く言語活動を設定する。

B **3**

一　木下さんは、あおばたいこクラブに所属しています。クラブでは、子ども夏祭りでたいこの演奏会と体験会をするので、【案内状】を作りました。【案内状】のたいこ演奏会の説明をしているところにならって、□にあてはまる内容を、**二つの文**で書きましょう。

みどり公園　子ども夏祭り
たいこ演奏会・体験会

あおばたいこクラブでは、子ども夏祭りで、たいこ演奏会と体験会を行うことになりました。たいこの音を聞くと、元気になりますよ。いっしょに楽しんでみませんか。

■　たいこ演奏会

7月16日(土)、午後5時から午後6時まで、たいこ演奏会を行います。席は十分用意していますので、みんなで来てください。

■　たいこ体験会

あおばたいこクラブ
●お問い合わせ●
06-XXXX-XXXX

経年比較 非連続型テキストの内容を目的に応じて書きかえる

国語

必要な情報を収集・整理し、図を使って説明する

話すこと・聞くこと　読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第5学年及び第6学年〕 A　話すこと・聞くこと

ア　考えたことや伝えたいことなどから話題を決め，収集した知識や情報を関係付けること。

〔第5学年及び第6学年〕 C　読むこと

オ　本や文章を読んで考えたことを発表し合い，自分の考えを広げたり深めたりすること。

カ　目的に応じて，複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

考えられる課題

●複数の資料を関連させて読み取る力

●読み取った内容を図を使って説明する力

短答式	正答率%	無解答率%
B 3 二(2)	53.5	1.7

B区分問題中正答率は2番目に低い

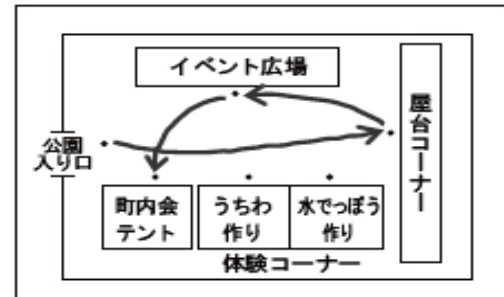
◆指導にあたって

☆図表やグラフなどを使って，相手にわかりやすく伝えるなど，説得力のある説明ができるよう指導する。

☆ポスターや取扱説明書などマルチモーダルの題材等、複数の文章や資料を関係付けて読んだり，読み取ったことを図表などに表したりする機会を設ける。

B 3

二(2)　上田さんと山本さんは、【子ども夏祭りのポスター】を見て、順番を考え、子ども夏祭りを一日でまわりました。公園入り口で待ち合わせをしたあと、どのような順番でまわりましたか。次の【例】のように、解答用紙の図に**矢じるし(↓)**を書きましょう。

物語を読んで登場人物の行動をとらえ、条件に合わせて説明する

書くこと　読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第5学年及び第6学年〕 B　書くこと

ウ　事実と感想，意見などとを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 C　読むこと

エ　登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。

考えられる課題

●叙述に着目して読む力

●登場人物の相互の関係を整理して読む力

●条件に合わせて書く力

記述式	正答率%	無解答率%
B 4 三	58.6	18.0

B区分問題中
正答率は3番目に低く
無解答率は最も高い

◆指導にあたって

☆継続して，登場人物の行動や会話，情景などの叙述に着目し，人物相互の関係を意識しながら読ませるよう心がける。

☆人物描写や情景描写をとらえ，表現の特徴やその効果について，キーワードを用いながら、限られた字数で書く活動の充実を図る。

B 4

三　―線部「大胆不敵な計略」とありますが、これはカガミジシのどのようなねらいを持った行動のことですか。
次の**条件**に合わせて書きましょう。

【条件】　「人間」と「ぎゃくもどり」の二つの言葉を使って書くこと。

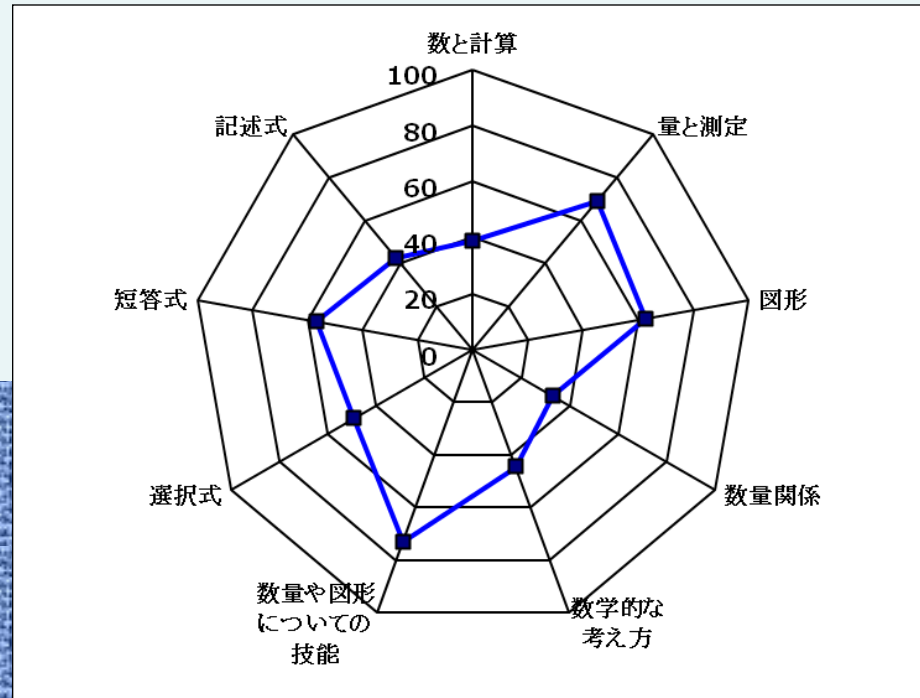
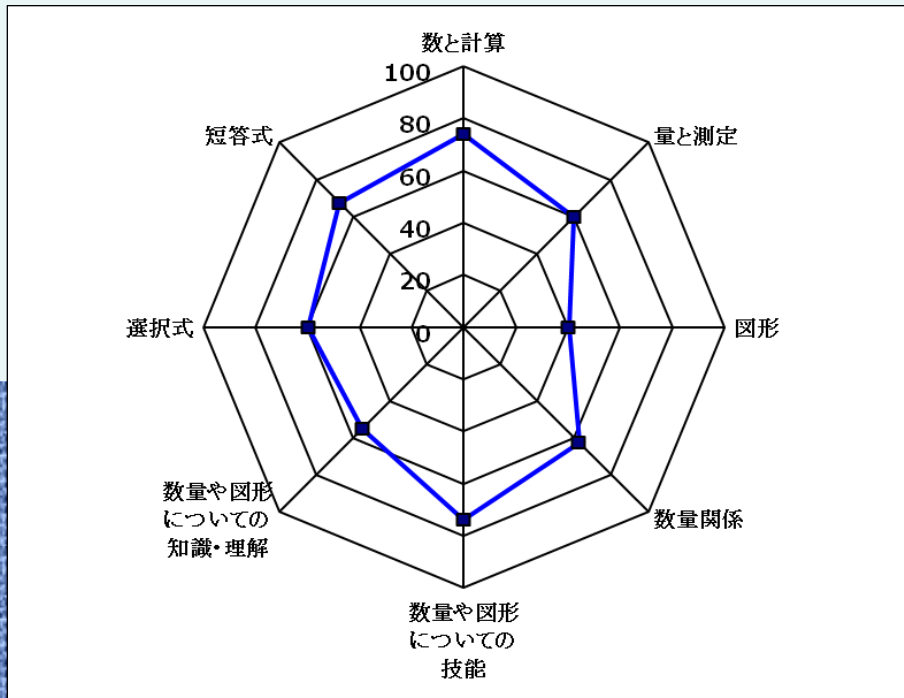
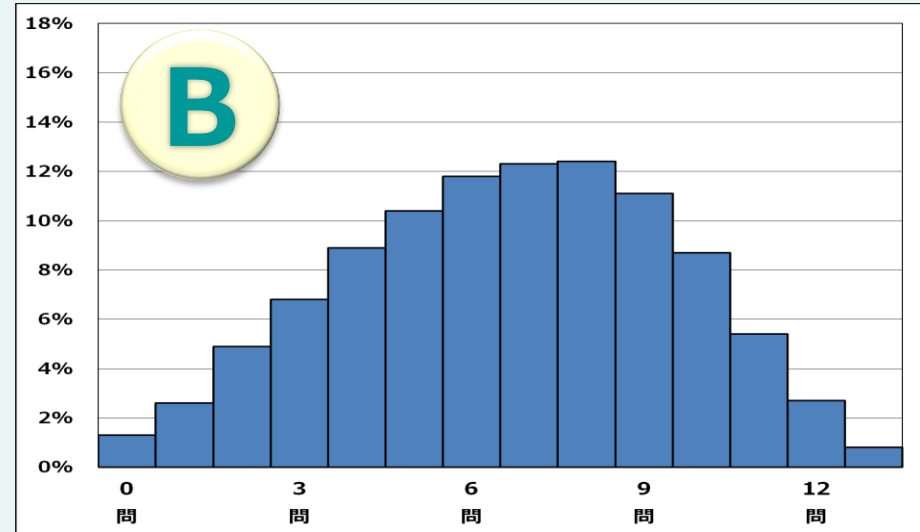
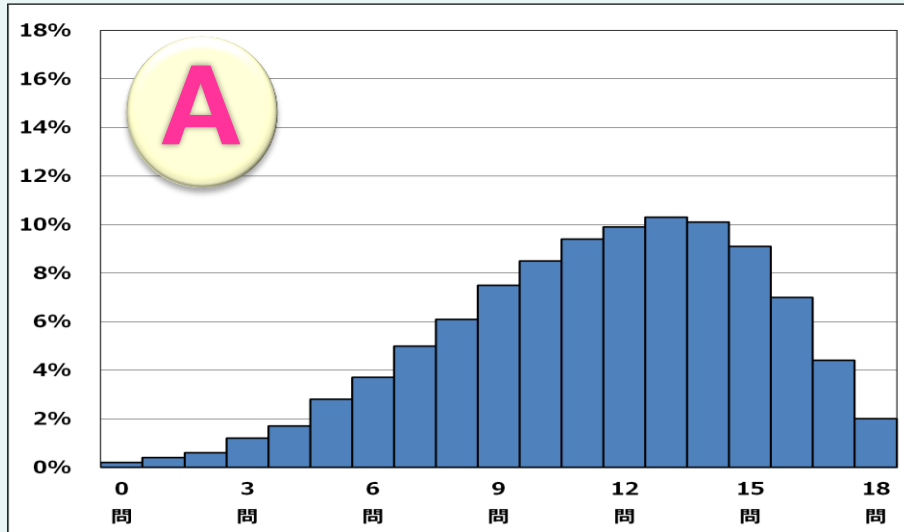
小学校6年生

	A		B	
全問題数	18問		全問題数	13問
正答率	63.4%		正答率	51.2%
誤答率	33.7%		誤答率	45.8%
無解答率	2.9%		無解答率	3.0%

小学校
領域別 観点別 形式別 正答率一覧表
（府内公立）

分　類	A 領域・観点・形式	A 平均正答率	B 領域・観点・形式	B 平均正答率
学習指導要領の領域等	数と計算	73.9%	数と計算	38.6%
	量と測定	59.7%	量と測定	69.1%
	図形	40.3%	図形	62.9%
	数量関係	62.7%	数量関係	33.2%
評価の観点	関心・意欲・態度	***	関心・意欲・態度	***
	考え方	***	考え方	44.6%
	技能	73.8%	技能	72.9%
	知識・理解	55.2%	知識・理解	***
問題形式	選択式	59.5%	選択式	49.2%
	短答式	67.4%	短答式	56.8%
	記述式	***	記述式	42.6%

小学校　第6学年　算数

平成23年度 大阪府学力・学習状況調査
ヒストグラム＋レーダーチャート（府内公立）

小学校　第6学年　算数

	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	88.0	11.7	0.3
2	1(2)	60.5	38.8	0.7
3	1(3)	91.3	8.3	0.4
4	1(4)	84.2	15.2	0.6
5	1(5)	91.9	6.7	1.4
6	1(6)	61.8	37.4	0.8
7	2(1)	68.9	28.4	2.7
8	2(2)	38.3	60.1	1.6
9	2(3)	67.8	31.3	0.9
10	3	47.6	50.2	2.2
11	4	72.1	26.0	1.9
12	5	59.5	39.2	1.3
13	6	16.7	82.0	1.3
14	7	38.9	58.3	2.8
15	8	65.4	31.3	3.3
16	9(1)	76.7	16.4	6.9
17	9(2)	69.6	20.5	9.9
18	10	42.9	43.6	13.5

	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	49.7	46.4	3.9
2	1(2)	66.4	32.3	1.3
3	2(1)	72.0	21.5	6.5
4	2(2)	76.5	22.5	1.0
5	2(3)	58.7	36.0	5.3
6	3(1)	90.0	8.7	1.3
7	3(2)	53.3	43.2	3.5
8	3(3)	45.4	51.9	2.7
9	4(1)	31.3	66.8	1.9
10	4(2)	6.1	91.2	2.7
11	5(1)	70.0	28.3	1.7
12	5(2)	22.5	74.5	3.0
13	5(3)	23.3	72.5	4.2

平成23年度 大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果（府内公立）

算数

位をそろえて，繰り下がりのある小数の減法の計算ができる

数量や図形についての技能

A 1 (2) 30－2.1

誤答率38.8%

「0.9」とした解答は全体の25.7 %

類題 A 1 (4) 8－0.5

【H22全国学力・学習状況調査　算数A】

誤答率15.2%

【学習指導要領との関連】

〔第3学年〕 A 数と計算

（5） 小数の意味や表し方について理解できるようにする。

イ 1/10の位まで小数の加法及び減法の意味について理解し，計算の仕方を考え，それらの計算ができること。

A区分問題の「計算問題」中　誤答率が最も高い

考えられる課題

●数の意味を理解した上で，位をそろえて計算すること

短答式	正答率%	無解答率%
A 1 (2)	60.5	0.7
全国22A	83.9	0.9

◆指導にあたって

☆小数点の位置の大切さに気づかせる。
①右の「ア」と「イ」の違いを考えさせ，話し合わせる。
②「30」を「2.1」に合わせ，「30.0」と小数第一位まで表記させる。

☆見積もり確認する習慣をつけさせる。
「30－2.1」は，およそ「30－2」で「28」。計算した数と比べ，確認する習慣をつけさせる。

ア
```
   3 0
－ 2.1
```

イ
```
   3 0
－   2.1
```

算数

概数で表された数が，何の位までの概数になっているかを判断できる

数量や図形についての知識・理解

A 2 (2) 何の位の概数を考え、選ぶ

誤答率60.1%

都道府県	人口	がい数
全国	127509567 人	127500000 人
兵庫県	5582635 人	5600000 人
大阪府	8800669 人	8800000 人

（統計局「統計表」都道府県人口の計算表ー総人口【平成 21 年 10 月 1 日現在】による）

ア 千の位までのがい数
イ 一万の位までのがい数
ウ 十万の位までのがい数
エ 百万の位までのがい数

「イ」または「エ」を選んだ解答は全体の54.3 %

【H21全国学力・学習状況調査　算数A】

A 2 (3) 74291 を四捨五入
千の位の概数を考え、選ぶ

1 70000
2 74000
3 74300
4 75000

誤答率27.9%

類題

考えられる課題

●概数の意味理解

A区分問題の「数と計算」領域中　正答率が最も低い

【学習指導要領との関連】

〔第4学年〕 A　数と計算

（2） 概数について理解し，目的に応じて用いることができるようにする。

イ 四捨五入について知ること。

選択式	正答率%	無解答率%
A 2 (2)	38.3	1.6
全国21A	71.1	1.0

◆指導にあたって

☆四捨五入の仕方や概数が用いられている場面を理解させる。

☆何の位の数字をどのように処理すればよいか判断する機会を意識的に設けたり，数直線に表させたりするなどの活動を取り入れ，一つずつ比較・検討・確認する習慣をつけさせる。

算数

三角形において，底辺と見なす辺を変えた時に高さにあたる部分を理解している

数量や図形についての知識・理解

A 4 辺ABを底辺としたときの、高さにあたる辺を選ぶ

「ア」（正答の高さに近い斜辺）または「イ」（ウを底辺とした高さであり，図の中で直角の記号が用いられている）を選んだ解答はそれぞれ約10 %ずつ

選択式	正答率%	無解答率%
A 4	72.1	1.9

正答率は全問中6番目に高い

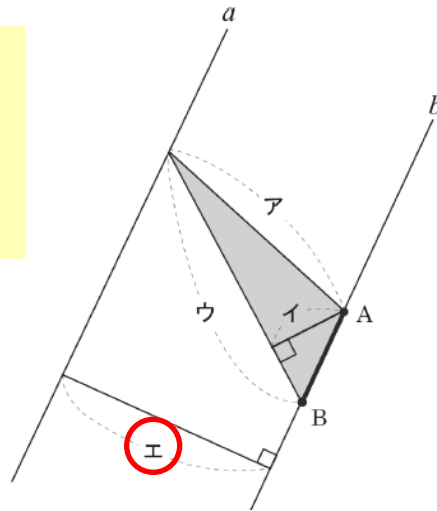
考えられる課題

●図形の底辺と高さの意味理解

【学習指導要領との関連】

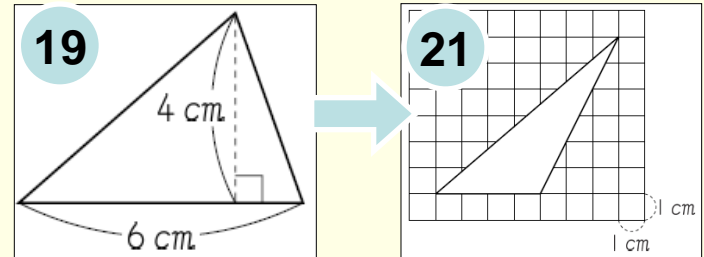
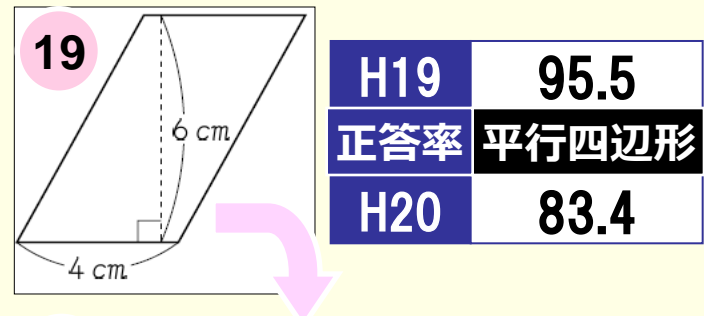
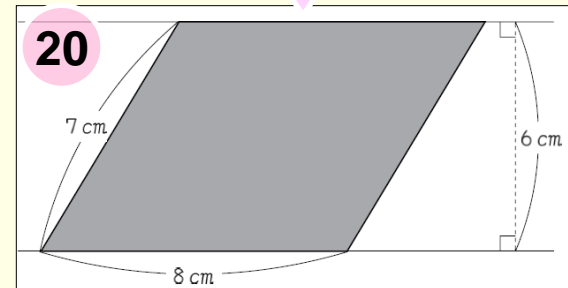
〔第5学年〕 B 量と測定

（1） 図形の面積を計算によって求めることができるようにする。

ア 三角形，平行四辺形，ひし形及び台形の面積の求め方を考えること。

◆指導にあたって

☆三角形の底辺に対する高さを確実に理解させる。

①本問のような図を活用し，ひとつの三角形を多角的にみて，考える時間を設け，関係を理解させる。

②三角形を不安定な向きに提示したり，回転させて向きを変えることができるようにして動的に見せたりするなど教材，及び提示の仕方を工夫する。

H19	正答率	H21
86.8	三角形	64.3

正答率	平行四辺形
H19	95.5
H20	83.4

円周率は円周と直径の割合であることを理解している

数量や図形についての知識・理解

A 7 下の①，②にあてはまることばを選ぶ

円周率は，［ ① ］が［ ② ］の何倍になっているかを表す数のことです。

ア 円周の長さ（①）　イ 円の面積　ウ 直径（②）　エ 半径

選択式	正答率%	無解答率%
A 7	38.9	2.8
全国20A	75.2	1.4

誤答率58.3%

A区分問題中
正答率が3番目に低い

【H20全国学力・学習状況調査　算数A】

A 7 類題

円周率は，
円周の長さ ÷ ［　　］
で求めることができます。

「1」(半径の長さ)または「4」(円の面積)を選んだ解答はそれぞれ全体の9.2 %と11.0 %

1　半径の長さ
2　直径の長さ
3　円周の長さ
4　円の面積

誤答率23.4%

考えられる課題

●見積もり等の量感覚を伴った円周率の意味理解

【学習指導要領との関連】

〔第5学年〕 C 図形

（1） 図形についての観察や構成などの活動を通して，平面図形についての理解を深める。

エ 円周率について理解すること。

直径　直径　直径

円周の長さ

◆指導にあたって

☆円周率の意味をより深く理解させる。

用語のみで考察し理解させるのではなく，導入時の見積もり等による“3倍と少し”という感覚を最後まで大切にし，左のような図を用いるなどして，視覚的・動的に理解させる。

算数

式を見て，その式をどのように考えて作ったのか説明できる

数学的な考え方

B 1 バラ3本を1つにまとめて花束を作りたいと思います。赤いバラが12本，白いバラが15本あるとき，作れる花束の数を求める式を，**みつき**さんと**かおる**さんは次のように考えました。

(1) かおるさんは，いくつの花束を作れるかをどのように考えましたか。かおるさんが作った式を見て，考え方を説明しましょう。

【みつき】 12÷3＋15÷3

考え方

赤いバラで作れる花束の数と白いバラで作れる花束の数をまず計算してから、両方の花束の数をたします。

【かおる】 (12＋15)÷3

考え方

誤答率46.4%

B区分「記述式」問題中　正答率が2番目に低い

記述式	正答率%	無解答率%
B 1 (1)	49.7	3.9

考えられる課題

●問題場面の理解の上で，その状況の違いがわかるよう，相手に伝えること

【学習指導要領との関連】

〔第4学年〕 D　数量関係

（2） 数量の関係を表す式について理解し，式を用いることができるようにする。

ア　四則の混合した式や（　）を用いた式について理解し，正しく計算すること。

◆指導にあたって

☆場面と図や式とことばを関連させながら考察させる。

平成21年全国学力・学習状況調査B区分問題1(3)のような，他者の考え方を読み取り，他の課題解決に利用するような学習活動を必要に応じて設定し，問題文の読み取りだけでなく，式や図などから考え方を読み取る力を養う。

参考 式を見て，その式をどのように考えて作ったのか説明できる

【H21全国学力・学習状況調査　算数B】

B 1 (3) 図のように6つの円の中に「子どもまつり」と書かれた長方形の紙があります。

紙のたての長さは80cm，横の長さは120cmで，図のように，紙いっぱいに6つの同じ大きさの円がかかれています。
これと同じものを作りたいので，1つの円の半径の長さが何cmになるかを求めます。

ゆうじさんは，紙のたての長さを使って，１つの円の半径の長さを，次のように求めました。

ゆうじさんの求め方

式	答え
80 ÷ 2 = 40 40 ÷ 2 = 20	20 cm

説明　紙のたての長さは 80 cm です。
円がたてに 2 つならんでいるので，80 ÷ 2 = 40 で直径の長さを求めました。
半径の長さは直径の半分なので，40 ÷ 2 = 20 で半径の長さを求めました。
だから，半径の長さは 20 cm です。

ゆうじさんと同じ求め方で，紙の横の長さを使って，１つの円の半径の長さを求めると，どのような式と説明になりますか。

下にある求め方の，2 つの式の □ の中には数を，（　　）の中には言葉と式を入れましょう。それぞれ**解答用紙**に書きましょう。

求め方

式	答え
120 ÷ □ = □ □ ÷ □ = □	20 cm

説明　紙の横の長さは 120 cm です。
（　　　　）
だから，半径の長さは 20 cm です。

記述式	正答率%	無解答率%
大阪府	27.9	6.1
全国	30.4	5.8

大阪府
誤答率66.0%

【趣旨】示された解決方法を理解し，見方を変えた別の解決方法を考え，それを数，言葉と式を用いて記述できるかどうかをみる。

【この問題から見られた課題】　示された求め方と説明が理解できていない

算数

異なる単位で表現された量は比較できないことを説明できる

数学的な考え方

B 2 ジュースを作ることになり，材料について，右のような表にまとめました。

(1) この表からでは，ジュースの中にどの材料がいちばん多く入っているかわかりません。その理由をかきましょう。

誤答率21.5%

材料	5人分の量
バナナ	400g
オレンジ果汁（かじゅう）	300mℓ
りんご	2個
もも	2切れ
レモン汁（じる）	小さじ 6ぱい
さとう	小さじ 10ぱい
水	200mℓ

B区分問題中　無解答率が最も高い

選択式	正答率%	無解答率%
B 2 (1)	72.0	6.5

考えられる課題

●量や単位の意味理解

【学習指導要領との関連】

〔第3学年〕 B　量と測定

（2） 長さや重さについて，およその見当を付けたり，目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定したりできるようにする。

◆指導にあたって

☆数詞や単位など，異なった数量が同じ場面に出てきた際には，量の種類や単位の違いに注意させる。

① 量の種類や使われている単位が異なれば，測定結果の数値だけで単純に大小の比較ができないことを理解させる。

② 本問のように，1つの表の中に複数の種類や単位で表された数量が混在する資料を活用し，数量の表し方の違いや意味の違いを意識する習慣をつけさせる。

(1)棒グラフを数量の変化という観点からとらえることができる
(2)総量が変化している棒グラフを割合の観点からとらえ，変化を説明することができる

数学的な考え方

B 4 　ペットボトルのリサイクルについて調べたところ，下のようなグラフを見つけました。

誤答率66.8%

(1) 「ゴミになった量」の変化について，

ア 「リサイクルされた量」と同じくらい増加している。
イ 「生産量」と同じくらい増加している。
ウ 「リサイクルされた量」や「生産量」の変化と比べて，あまり変化していない。
エ 急激に減少している。

(2) 「生産量」に対する「ゴミになった量」の割合の変化について，

ア 「ゴミになった量」の割合は増加している。
イ 「ゴミになった量」の割合は変化していない。
ウ 「ゴミになった量」の割合は減少している。

また，その記号を選んだ理由をかきましょう。

誤答率91.2%

考えられる課題
●複数のグラフを関連させながら読み取ること

【学習指導要領との関連】

〔第3学年〕 D　数量関係

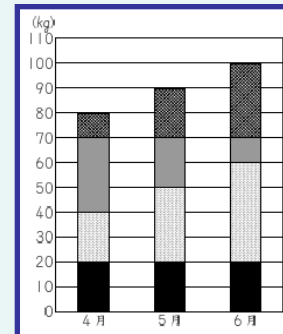
（3） 資料を分類整理し，表やグラフを用いてわかりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。

ア 棒グラフの読み方やかき方について知ること。

〔第5学年〕 D　数量関係

（3） 百分率について理解できるようにする。

全問題中　正答率が最も低く誤答率が最も高い→(2)

選択式 記述式	正答率%	無解答率%
B 4 (1)	31.3	1.9
B 4 (2)	6.1	2.7

◆指導にあたって

☆必要な情報を取り出して数量を比較し，判断することができるようにする。

右上のようなグラフを終末段階で取り上げるなどし，(平成21年全国学力・学習状況調査B区分設問5を参考に)判断に必要となる情報がどれであるかを説明させるなど，どの部分をどのように読み取り，思考・判断したのかを説明できるようにする。

中学校３年生

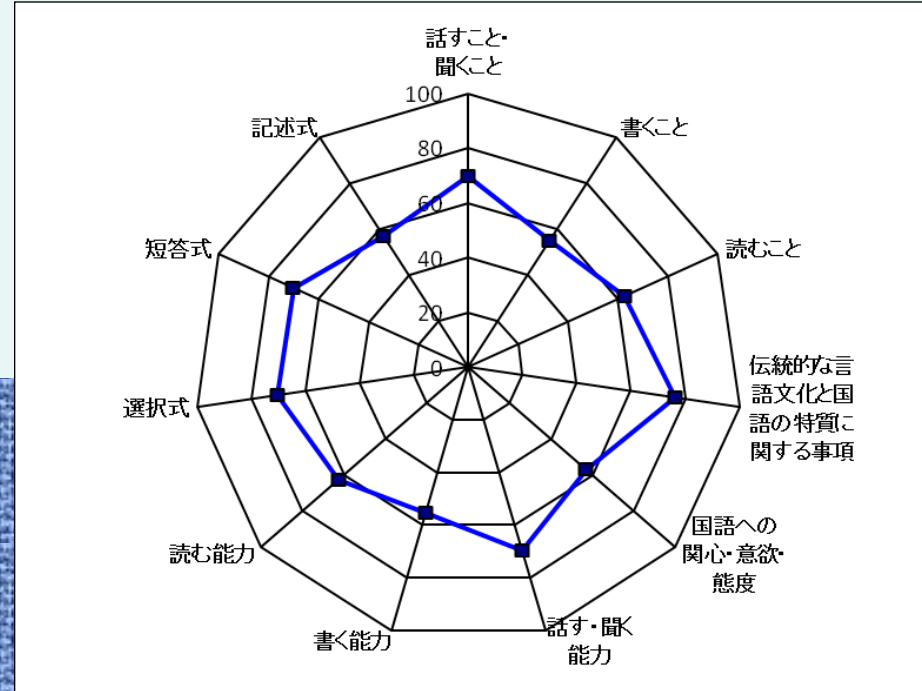
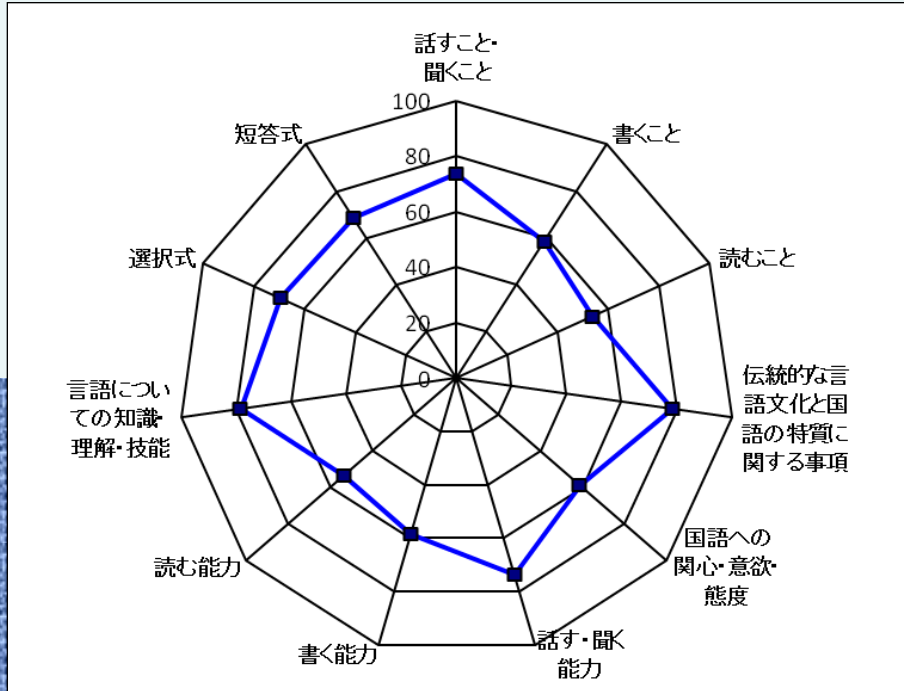
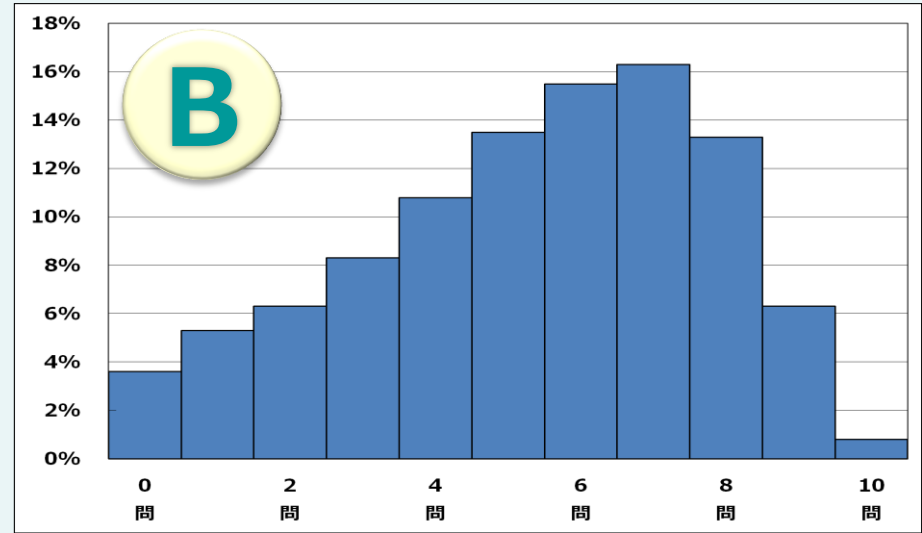
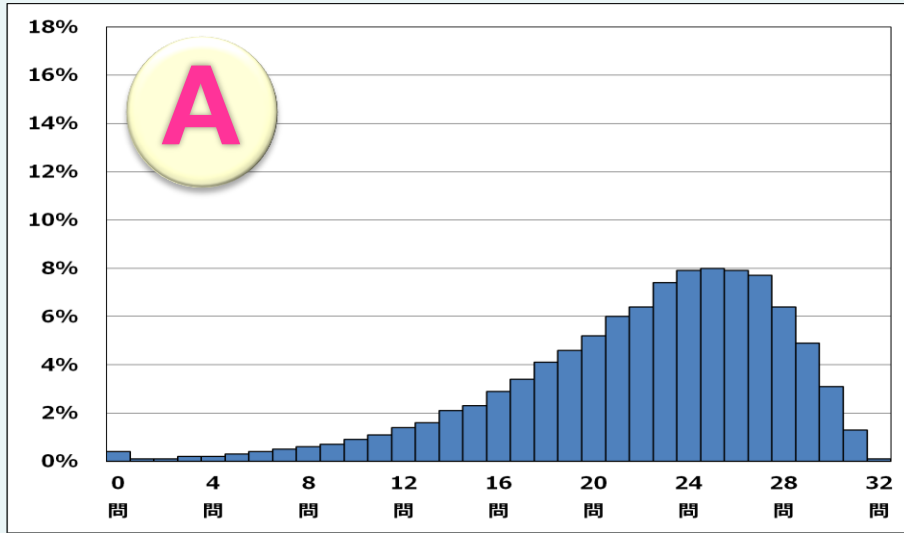
	A	B
全問題数	32問	10問
正答率	69.0%	53.2%
誤答率	27.0%	39.5%
無解答率	4.0%	7.3%

中学校

領域別
観点別
形式別
正答率一覧表
（府内公立）

分　類	領域・観点・形式	A 平均正答率	B 平均正答率
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	73.8%	66.4%
	書くこと	58.3%	51.7%
	読むこと	53.6%	47.6%
	言語事項	78.4%	***
評価の観点	関心・意欲・態度	58.7%	51.7%
	話す・聞く能力	73.8%	66.4%
	書く能力	58.3%	51.7%
	読む能力	53.6%	47.6%
	知識・理解・技能	78.4%	***
問題形式	選択式	69.4%	51.2%
	短答式	68.5%	57.4%
	記述式	***	51.7%

平成23年度 大阪府学力・学習状況調査
ヒストグラム＋レーダーチャート（府内公立）

中学校　第3学年　国語

中学校　第3学年　国語

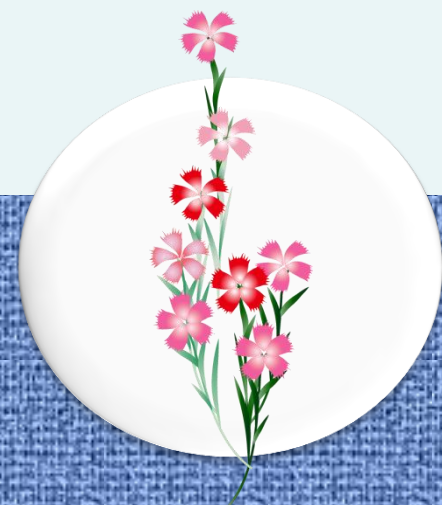
	設問	正答	誤答	無解答
1	1 一(1)ア	92.8	5.2	2.0
2	1 一(1)イ	56.5	38.8	4.7
3	1 一(1)ウ	98.0	1.0	1.0
4	1 一(2)①	90.1	4.6	5.3
5	1 一(2)②	82.4	9.8	7.8
6	1 一(2)③	84.8	9.6	5.6
7	1 二(1)	68.7	30.5	0.8
8	1 二(2)	76.2	23.0	0.8
9	1 三(1)	83.8	15.3	0.9
10	1 三(2)	59.7	39.4	0.9
11	1 四(1)	75.0	17.0	8.0
12	1 四(2)	97.7	1.4	0.9
13	1 四(3)	86.7	12.3	1.0
14	2 一	66.6	32.4	1.0
15	2 二	57.0	41.9	1.1
16	3 一	73.1	22.8	4.1

	設問	正答	誤答	無解答
17	3 二	88.1	10.9	1.0
18	3 三	76.5	22.3	1.2
19	4 一	47.7	51.2	1.1
20	4 二	31.9	62.3	5.8
21	4 三	84.8	5.4	9.8
22	4 四	46.9	50.9	2.2
23	5 一	44.8	48.2	7.0
24	5 二	86.3	11.8	1.9
25	6 一	86.3	11.6	2.1
26	6 二	45.4	45.7	8.9
27	6 三	57.5	35.4	7.1
28	7 一	48.4	40.1	11.5
29	7 二	68.4	29.1	2.5
30	7 三	14.5	82.7	2.8
31	8 一	64.5	26.6	8.9
32	8 二	65.9	26.9	7.2

	設問	正答	誤答	無解答
1	1 一	54.7	44.2	1.1
2	1 二	27.7	69.8	2.5
3	2 一	17.4	81.1	1.5
4	2 二	48.8	28.8	22.4
5	3 一ア	61.6	32.2	6.2
6	3 一イ	58.9	34.7	6.4
7	3 二	78.7	10.6	10.7
8	4 一	53.4	44.9	1.7
9	4 二	51.6	30.3	18.1
10	4 三	79.5	18.5	2.0

平成23年度 大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果（府内公立）

漢字の読み書き・語句に関する問題

［言語事項］ 漢字

「書く力の弱さ」や「記述式問題の無解答率が高い」ことにつながる課題

文脈における漢字の読み書き

A 1 一	種別	正答率%	無解答率%
多様	読み	92.8	2.0
河川	読み	56.5	4.7
支えて	読み	98.0	1.0
里山	書き	90.1	5.3
異なる	書き	82.4	7.8
個性	書き	84.8	5.6

文脈における漢字の選択

A 1 二	種別	正答率%	無解答率%
図る	訓読み	68.7	0.8
対象	音読み	76.2	0.8

文脈における語句・漢字の意味の選択（辞書の活用）

A 1 三	正答率%	無解答率%
（注意を）傾けて	83.8	0.9
（「表現」の）「現」	59.7	0.9

考えられる課題

●学習した漢字の定着
●日常の使用語彙としての定着
●同音異義語や多義的な意味を示す語句を適切に使い分けること

◆指導にあたって

☆実際の用例をもとにして文脈に沿って意味や用法についての理解を深めさせる。
☆辞書を活用し語句の意味を調べ，その語句を使って短文を作るなど適切に使用させる。
☆類義語・対義語調べなどと関連させる。
☆実際に，会話や文章の中で使用させる。

一　漢字の楷書と行書の違いを理解する
二　メモを書き直した工夫として適切でないものを選択する

［言語事項］ 書写

【学習指導要領との関連】

〔全学年〕［言語事項］（3）書写に関する事項

1年　イ　漢字の楷書とそれに調和した仮名に注意して書き，漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。

2,3年　ア　字形，文字の大きさ，配列・配置などに配慮し，目的や必要に応じて調和よく書くこと。

選択式	正答率%	無解答率%
A 2 一	66.6	1.0
A 2 二	57.0	1.1

全国調査では全国に比べて正答率が5ポイント程度低いことが多い

A 2

一

【楷書】

起承転結

【行書】

二

Ⓐ

今週の下校予定時刻
曜日下校予定時刻予定
月曜日午後6時部活動
火曜日午後5時半委員会活動
水曜日午後4時何もなし
木曜日午後6時部活動
金曜日午後6時図書室で勉強

Ⓑ

今週の下校予定時刻

[曜日]	[下校予定時刻]	[予　定]
月曜日	午後6時	部活動
火曜日	午後5時半	委員会活動
水曜日	午後4時	何もなし
木曜日	午後6時	部活動
金曜日	午後6時	図書室で勉強

考えられる課題

- ●書写における「筆順の変化」などの言葉の意味理解
- ●目的に応じて見やすく書くことについての理解

◆指導にあたって

☆日常生活の中でなじみ深い漢字をとりあげて楷書と行書を比較し，筆順の変化の他，点や画の連続や省略などについて考えさせる。

☆全体のバランスを考えたり，見出しや項目の書き方を工夫したりするなど，目的や読み手を意識して書こうとさせる。

論理の展開の仕方をとらえて内容を理解する

読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第2学年及び第3学年〕 C 読むこと

イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ，内容の理解や自分の表現に役立てること。

短答式	正答率%	無解答率%
A 4 二	31.9	5.8

A区分問題中 正答率が2番目に低い

A 4

二 本文の内容を前半と後半にわけるとき、後半のはじめの五字を抜き出しなさい。ただし、句読点は字数にふくめます。

（「高階秀爾「西洋の眼　日本の眼」による。」）

日本の住宅建築において、

それに対して、

正答箇所

誤答として最も多かった箇所

この箇所を選んだ解答は全体の **36.1** %

考えられる課題

●論理の展開の仕方をとらえ，段落の役割をとらえること

［ 第2段落冒頭部を解答している生徒が36.1%いた。
→その話題提示のあり方に注目しすぎたり，問題文のレイアウト的な要素（全体の分量や段落末の空白など）に影響を受けたと考えられる ］

◆指導にあたって

☆文章の展開や構成の仕方に注意して，各段落が文章全体の中で果たす役割について，段落の続き具合を接続詞や指示語に注意してとらえさせる。

☆表にまとめるなどの活動を通して考えさせる。

国語　様々なテキストを取り扱う　複数のテキストを関連させる

話すこと・聞くこと　書くこと　読むこと

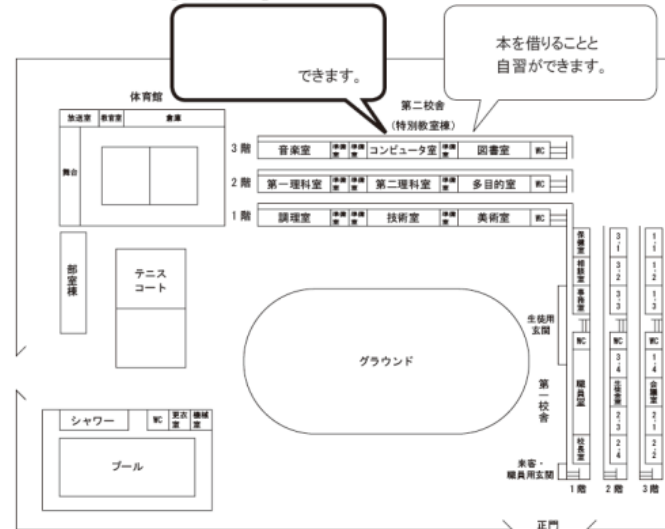
A 6 ホームページの文章(抜粋)と図

【第三中学校ホームページ～学校施設の紹介 その1～】

新入生の皆さん、第三中学校のホームページへようこそ。さあ、いっしょに第三中学校の施設めぐりをはじめましょう。

廊下を折れ曲がって第二校舎に入ってみましょう。ここは、特別教室棟(とう)です。音楽室、コンピュータ室、図書室があります。コンピュータ室には、インターネットができるパソコンとプリントの印刷ができるプリンタが設置されています。昼休みと放課後に開放されているので、調べものをするときに利用しましょう。図書室は本を借りられるほか、自習スペースがあります。昼休みや休み時間、放課後に開放されているので、わからないことは遠慮(えんりょ)なく司書の方に相談しましょう。

次のページでは、体育館やプール、グラウンドの紹介をします。

学校施設の紹介その２　トップへ戻る

	問題形式	正答率%	無解答率%
A 5 一	短答式	44.8	7.0
A 5 二	選択式	86.3	1.9
A 6 一	選択式	86.3	2.1
A 6 二	短答式	45.4	8.9
A 6 三	短答式	57.5	7.1

考えられる課題

●目的を持って，様々なテキストを読んだり書いたりすること，用いて話したり聞いたりすること

◆指導にあたって

☆日常生活で出会う様々な文章を取り上げ，それぞれの特徴を知り，どのように読んだり書いたりするとよいか，どのように利用するといいか，自分の考えを持たせる。

A 5 会話とプリント

野村さん　きのう、マヨネーズを作ってみようとしたのですが、うまくいきませんでした。なぜでしょうか。

吉川先生　どのように作ったのですか。

野村さん　まず、酢(す)、卵黄、塩、こしょうをボールに入れて、よく混ぜました。次に油を入れてかき混ぜたのですが、油と他の材料が分離してしまい、混ざらなかったのです。

吉川先生　なるほどね。酢と油は、水と油のように本来分離してしまうものです。しかし、方法はあります。卵です。卵黄には酢と油の両方を結びつける性質があるレシチンという物質が含まれています。レシチンのような物質は、界面活性剤(かっせいざい)といって、水と油を結びつける性質を持っているため、食器の油よごれを落とす洗剤(せんざい)にも使われています。マヨネーズは、酢と卵黄を混ぜてから油を入れますが、油を一度に入れてしまうと、うまく混ざりません。卵が［ ア ］の役割を果たすことで初めて、マヨネーズになるのです。油と他の材料をうまく混ぜるコツは、よく混ぜた他の材料に油を少しずつ入れながら混ぜることですね。

おいしいマヨネーズをつくるには

マヨネーズの作り方

① 酢、卵黄、塩、こしょうをボールに入れて、よく混ぜる。
② 次に油を入れて、よく混ぜて、とろみをつける。

卵の役割

卵黄が、仲介役になって、酢と油が混ざる。

マヨネーズをつくるコツ　酢と卵黄をボールに入れて、［ イ ］ること。

古文と大意とを対応させて内容をとらえる

読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第1学年〕 C 読むこと

ア 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ，理解すること。

イ 文章の展開に即して内容をとらえ，目的や必要に応じて要約すること。

考えられる課題

●古文と大意とを対応させて内容をとらえること

［選択肢3を選んで解答しているものが70.7%であり，主語（動作主）を大意と関連させてとらえられていない］

◆指導にあたって

☆現代語訳や注などを活用して作品の内容を理解する方法を習得させる。

☆人間関係を図示したり，展開を場面に分けて絵で表すなどして考えさせる。

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。翁いふやう、「我朝ごとに夕ごとに見る竹の中におはするにて知りぬ、子となり給ふべき人なめり」とて、手にうち入れて家へ持ちて来ぬ。妻の嫗にあづけて養はす。うつくしきことかぎりなし。いとをさなければ籠に入れて養ふ。

（大意）

たいへん昔のことであるが、竹取の翁というおじいさんがいた。野や山に分けいっては、竹をとって、いろいろなものをつくって暮らしていた。おじいさんの名前はさぬきの造という。ある日、いつもとりにいっている竹の中に根もとが光っている一本の竹を見つけた。ふしぎに思って近づいてみると、竹の筒の中が光っていた。それをよく見ると、三寸（約九センチメートル）ほどの大きさの人が、たいそうかわいらしい様子で座っていた。おじいさんは、「私が毎日、朝も夕方もずっと見ていた竹の中にいらっしゃるということは、私の子になるはずのお方だろう。」と言い、手のひらにのせて家につれていった。妻である嫗（おばあさん）にあずけて育てさせた。そのかわいらしさはこの上ないもので、たいへん小さいのでかごに入れて育てた。

A 7

三 「養はす」は、だれがだれを「養はす」のですか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 翁が嫗を養はす。
2 翁が三寸ばかりなる人を養はす。（正答）
3 嫗が三寸ばかりなる人を養はす。
4 嫗が翁を養はす。

「3」を選んだ解答は全体の70.7％

正答率は全問中最も低い

選択式	正答率%	無解答率%
A 7 三	14.5	2.8

国語

文章の内容を資料を例にして説明する

書くこと　読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第2学年及び第3学年〕　B　書くこと

エ　自分の意見が相手に効果的に伝わるように，根拠を明らかにし，論理の展開を工夫して書くこと。

〔第2学年及び第3学年〕　C　読むこと

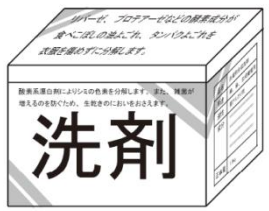
エ　文章を読んで人間，社会，自然などについて考え，自分の意見をもつこと。

記述式	正答率％	無解答率％
B 1 二	27.7	2.5

記述して解答しているが，正答率が低い

考えられる課題

●文章の内容を資料を例にして説明すること

［　文章の内容と資料とを適切に関連付けられているが，筆者の主張が書かれていない解答をしているものが38.0％である。
　23.7％が【商品2】を選んでいて，文章の内容と資料とを適切に関連付けられていない　］

B 1

二　この文章によると、次の【商品1】と【商品2】を比べて、どちらがより多く売れることになっていますか。商品を選び、その理由を解答用紙の前後の言葉につながるように書きなさい。

※洗剤（せんざい）……衣類を洗うために用いる物質。
※酵素（こうそ）……よごれを落とすための化学反応の手助けをしているタンパク質。
※漂白剤（ひょうはくざい）…衣類のシミなどを落とすための薬。
※雑菌（ざっきん）……衣類のよごれやにおいのもとになる微生物。

←選んだ商品に〇をつけなさい。

選んだ商品　【商品1】　【商品2】

なぜその商品を選んだのか

私たちは、買い物をするとき、

から。

◆指導にあたって

☆自分の考えをもちながら，筆者の考えや意見と取り上げた事実とを区別して書かせる指導との関連を図る。

☆日常生活の中で言語情報を読み，利用する経験と照らし合わせ，その読み取り・利用の力を活用させる。

国語　文章の表現の特徴をとらえる

読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第2学年及び第3学年〕　C　読むこと

オ　目的をもって様々な文章を読み，必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。

選択式	正答率%	無解答率%
B 2 一	17.4	1.5

B区分問題中　正答率は最も低い

考えられる課題

●文章の表現の特徴をとらえること

●選択肢自体を読むことや設問文自体を読むこと

B 2

一　この文章の表現の特徴を説明したものとして適切でないものを、次の1から4の中から一つ選びなさい。

1　放課後の焼却炉の前で、竜二は兄に「歌がうまい」とほめられたことを、宝もののように話してきた場面を通して、「私」が特別な立場にあるように表現されている。

2　なにげなくうたってほめられたことと練習しても川の幅を飛び越えられないことのように、竜二が無意識にやってほめられたことと意識しているのにできないことを、対比させるように表現されている。

3　竜二の「そしたら兄ちゃんと」や、高志の「竜二はもう、遊びには連れて行かんっ！」といった言葉を効果的に用いて、竜二の高志への思いの強さがわかるように表現されている。

4　「夏休み中のことだった」のように、小学校時代のことを「私」が思い出すように書くことで、「私」の思いが具体的に伝わるように表現されている。

各選択肢の反応率は次の通り

④17.4％　③21.9％　②27.1％　①31.9％

◆指導にあたって

☆場面や登場人物の設定の仕方について考え，内容の理解に役立たせる。そのために，目的に応じて自分の考えをもちながら，全体を大きくとらえて読むことと部分を正確に読むこととを組み合わせる。

☆登場人物の関係や心情の変化と情景描写を関連付けて考えさせる。

文章の展開に即して内容をとらえ，登場人物の心情について考える

書くこと　読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第2学年及び第3学年〕　B　書くこと

イ　自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。

〔第2学年及び第3学年〕　C　読むこと

オ　目的をもって様々な文章を読み，必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。

記述式	正答率%	無解答率%
B２二	48.8	22.4

無解答率が最も高い

B ２

二　―線部「竜二のかなしみ」について、どのようなかなしみだと「私」はとらえていますか。次の条件１から３にしたがって具体的に説明しなさい。

条件１　竜二の兄に対する思いをふまえて書くこと

条件２　竜二の行動にふれて書くこと

条件３　六十字以上、百二十字以内で書くこと

考えられる課題

●文章の展開に即して内容をとらえ，登場人物の心情について考えること

●自分の考えを条件にしたがって書こうとすること

◆指導にあたって

☆構成や展開，表現の仕方について考え，内容の理解に役立たせる。そのために，部分を正確に読むことと，全体を大きくとらえて読むこととを組み合わせる。その際，生徒が主体的に目的に応じて読もうとするような，単元全体を貫く言語活動を設定する。

☆目的に応じて要約させたり，与えられた条件を守ることを意識して書かせる。その際，書いた文章を読み返し，語句や文の使い方，段落相互の関係などに注意して，読みやすく分かりやすい文章にさせる。

☆書く意欲に課題があることに対しては，書いたものを誰にどう読ませるかなどの目的意識や課題意識をはっきりと持たせる，文のモデルの提示や書く手順を工程表として示すなどの細やかなてだてを工夫する。

資料から的確に情報を読み取る

読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第2学年及び第3学年〕 C 読むこと

イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ，内容の理解や自分の表現に役立てること。

オ 目的をもって様々な文章を読み，必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。

短答式	正答率%	無解答率%
B 4 二	51.6	18.1

無解答率は全問中2番目に高い

考えられる課題

●文章と資料との関わりをとらえること

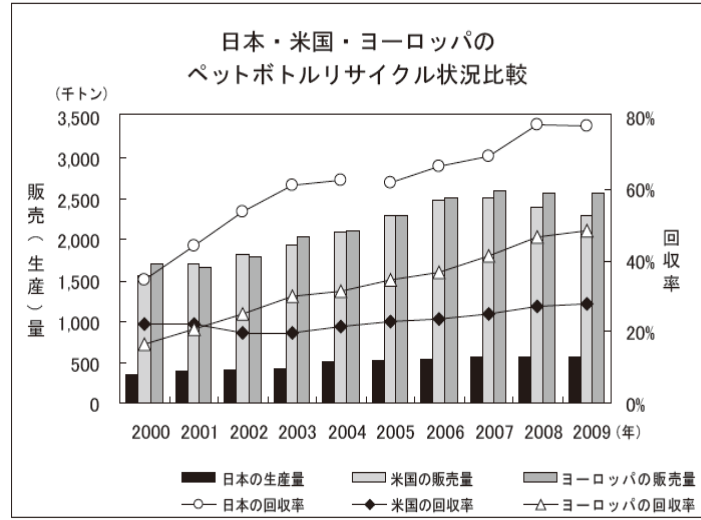
◆指導にあたって

☆目的に応じ，自分の考えをもちながら，複数のテキストを比較，関連づけして読むことを考えさせる。

☆図表やグラフを読む際には，キーとなる語句に注意して，根拠となる事実や考えを明確にとらえさせる。

B 4

二 次の文章は、竹内さんが【グラフA】から読み取ったことをもとにして書いたものです。竹内さんは、グラフのどのデータに注目しましたか。【グラフA】の中の言葉を使って書きなさい。

【グラフA】

【竹内さんの文章】

私の家では、ペットボトルは資源ゴミの日にまとめて出している。外では、駅やコンビニエンスストアなど、あちらこちらにある専用のゴミ箱に分別して入れている。学校の指定カバンは、ペットボトル再利用品だ。私の身近なところでは、ペットボトルリサイクルは当たり前になっていると感じたが、それは日本社会全体にも言えることだとわかった。

中学校３年生

A	
全問題数	33問
正答率	62.1%
誤答率	31.3%
無解答率	6.6%

B	
全問題数	16問
正答率	38.7%
誤答率	42.8%
無解答率	18.5%

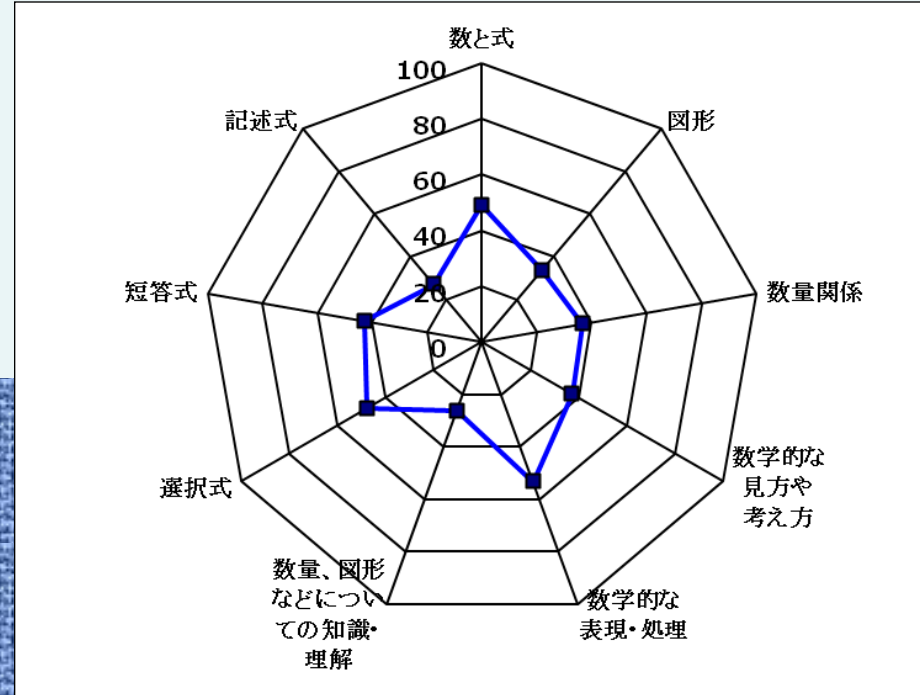
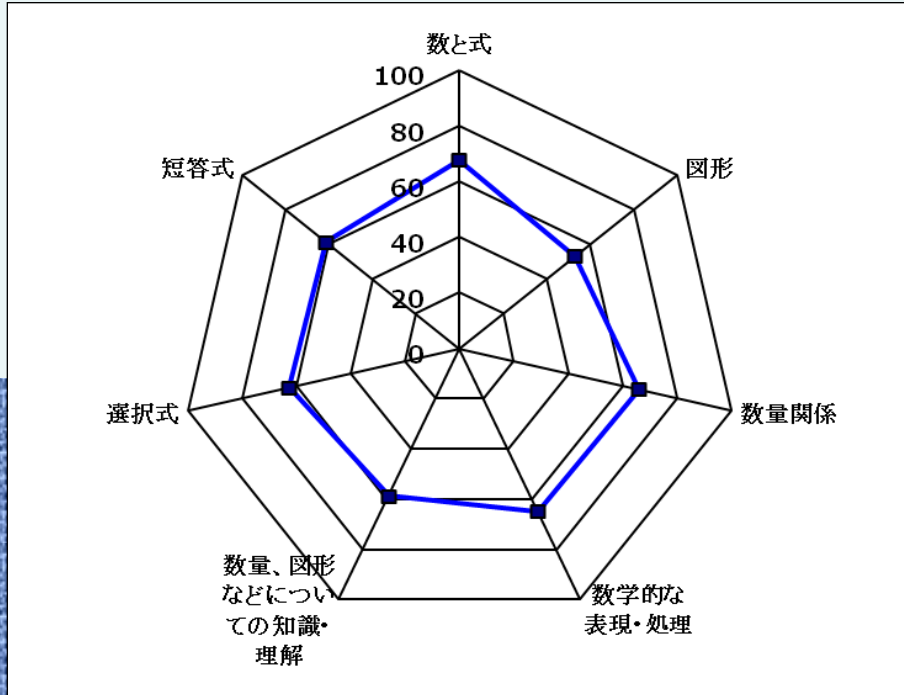
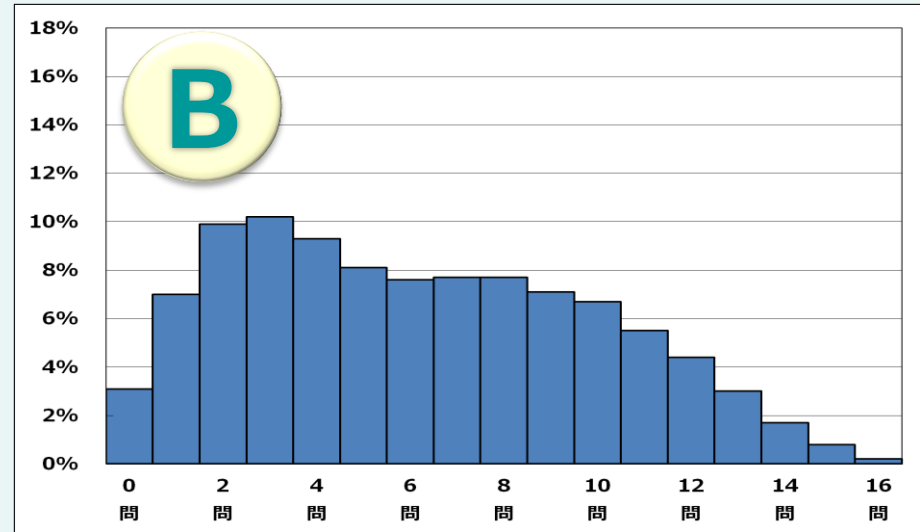
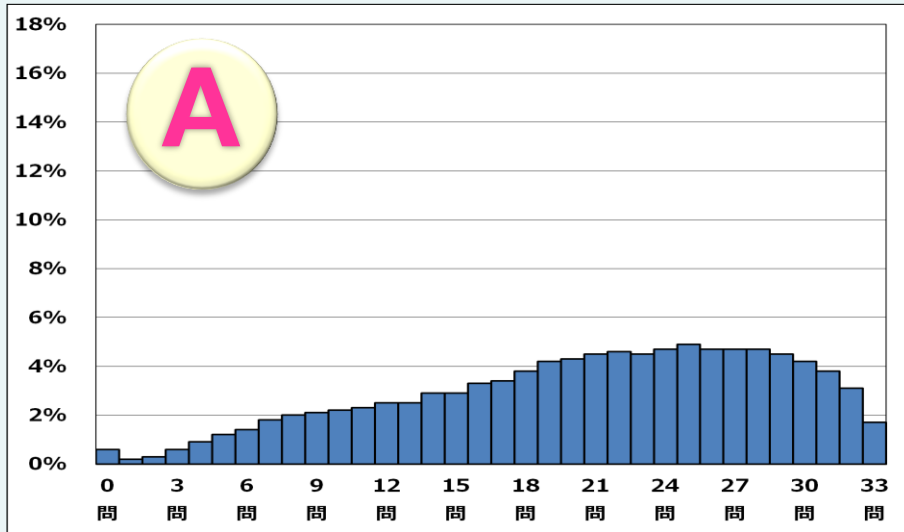
中学校

領域別
観点別
形式別
正答率一覧表

（府内公立）

分　類	A 領域･観点･形式	A 平均正答率	B 領域･観点･形式	B 平均正答率
学習指導要領の領域等	数と式	67.4%	数と式	49.1%
	図形	52.9%	図形	33.6%
	数量関係	66.0%	数量関係	36.8%
評価の観点	関心･意欲･態度	***	関心･意欲･態度	***
	見方や考え方	***	見方や考え方	37.4%
	表現･処理	64.9%	表現･処理	53.4%
	知識･理解	58.8%	知識･理解	26.2%
問題形式	選択式	62.9%	選択式	47.8%
	短答式	61.2%	短答式	42.6%
	記述式	***	記述式	26.9%

平成23年度 大阪府学力・学習状況調査
ヒストグラム＋レーダーチャート（府内公立）

中学校　第3学年　数学

中学校　第3学年　数学

	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	89.0	9.6	1.4
2	1(2)	72.8	23.2	4.0
3	1(3)	81.3	17.8	0.9
4	1(4)	79.6	17.2	3.2
5	2(1)	49.8	49.0	1.2
6	2(2)	54.3	37.5	8.2
7	2(3)	74.7	23.9	1.4
8	2(4)	69.1	18.2	12.7
9	2(5)	71.4	17.6	11.0
10	3(1)	69.9	28.7	1.4
11	3(2)	29.5	68.8	1.7
12	4(1)	83.8	14.9	1.3
13	4(2)	53.4	45.2	1.4
14	5(1)	78.1	20.6	1.3
15	5(2)	30.6	66.9	2.5
16	5(3)	33.7	52.9	13.4

	設問	正答	誤答	無解答
17	6(1)	38.2	60.4	1.4
18	6(2)	65.8	27.2	7.0
19	7(1)	81.1	17.0	1.9
20	7(2)	36.6	45.2	18.2
21	8(1)	46.2	51.5	2.3
22	8(2)	34.6	43.2	22.2
23	9(1)	82.9	15.1	2.0
24	9(2)	43.8	53.8	2.4
25	10(1)	54.6	26.6	18.8
26	10(2)	48.2	49.0	2.8
27	11(1)	73.9	12.9	13.2
28	11(2)	31.8	41.2	27.0
29	12(1)	86.4	5.8	7.8
30	12(2)	83.0	14.6	2.4
31	13(1)	78.4	19.2	2.4
32	13(2)	64.5	20.5	15.0
33	14	78.6	18.9	2.5

	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	51.7	47.3	1.0
2	1(2)	24.2	74.2	1.6
3	1(3)	14.3	55.9	29.8
4	2(1)①	55.2	21.6	23.2
5	2(1)②	44.1	26.6	29.3
6	2(2)①	63.9	33.3	2.8
7	2(2)②	33.3	25.2	41.5
8	3(1)	53.9	44.1	2.0
9	3(2)	60.5	29.5	10.0
10	3(3)	16.1	69.9	14.0
11	4(1)	26.2	43.9	29.9
12	4(2)	35.4	30.8	33.8
13	4(3)①	71.1	26.5	2.4
14	4(3)②	28.5	48.2	23.3
15	5(1)	18.3	33.7	48.0
16	5(2)	22.4	75.0	2.6

一元一次方程式が表す数量を理解している

数量、図形などについての知識・理解

A 3 (2) あきよさんは自分の考えにもとづいて，次のような方程式を立てたてました。

$$\frac{y+20}{5}=\frac{y-16}{4}$$

誤答率68.8%

このとき，上の方程式の右辺と左辺は，何の数量を表していますか。

ア はじめの鉛筆の本数
イ 一人に配った鉛筆の本数
ウ 鉛筆を配ったときの，足りない本数と余った本数
エ（正答） クラスの生徒全員の人数

〈問題〉
鉛筆が何本かあります。クラスの生徒全員にその鉛筆を配ります。

1人に5本ずつ配ると20本足りないので，4本ずつ配ったら16本余りました。

はじめの鉛筆の本数とクラスの生徒全員の人数を求めなさい。

〈太郎さんの考え〉 **正答率69.9%**
クラスの生徒全員の人数を x 人として方程式を立てました。

〈あきよさんの考え〉
はじめの鉛筆の本数を y 本として方程式を立てました。

考えられる課題

- ●式が表す数量の理解
- ●等しい関係を意識した立式の理解

【学習指導要領との関連】

〔第1学年〕 A 数と式

（3） 方程式について理解し，一元一次方程式を用いることができるようにする。

ア 方程式及びその中の文字や解の意味を理解すること。

A区分問題中
正答率が最も低く
誤答率が最も高い

選択式	正答率%	無解答率%
A 3 (2)	29.5	1.7

◆指導にあたって

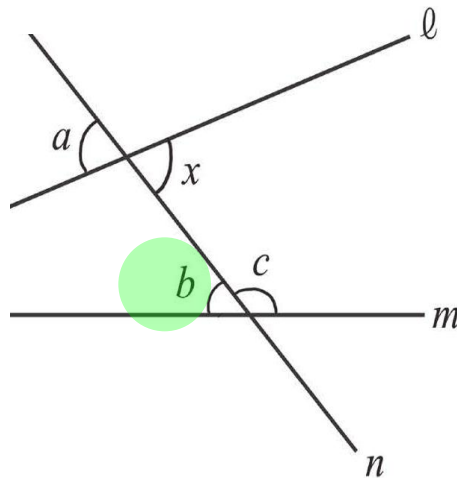
☆図や表を用いて，数量の関係を視覚化する活動を取り入れる。

☆自分で立てた式を，根拠をもって人に説明する活動場面を設定する。

数学

錯角を正しく理解している　（正答率が低い「知識・理解」の問題）

数量、図形などについての知識・理解

A 6 (1)　∠x の錯角を選びなさい。

【誤答率60.4 %の反応類型】

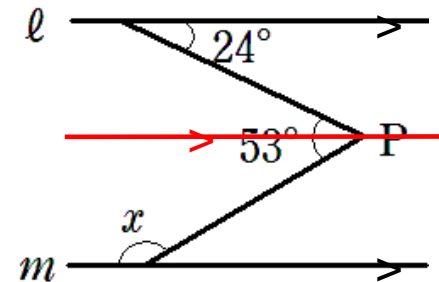
「∠a」：14.6 %
→　∠ x と等しい大きさの角を選択

「ない」：41.8 %
→　錯角は平行の時のみ存在と誤解

誤答率60.4%

誤答率30.9%　　表現・処理

【大阪府学力テスト2年生　B問題】

11　∠x の大きさを求めなさい。

誤答率がA区分問題中3番目に高い

選択式 短答式	正答率%	無解答率%
A 6 (1)	38.2	1.4
府2B 11	62.9	6.2

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕Ｂ　図形

（1）　観察，操作や実験を通して，基本的な平面図形の性質を見いだし，平行線の性質を基にしてそれらを確かめることができるようにする。

ア　平行線や角の性質を理解し，それに基づいて図形の性質を確かめることができること。

考えられる課題

●用語（錯角）の意味理解

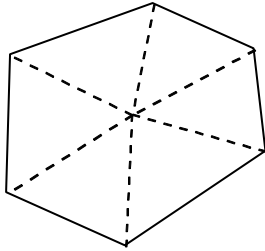
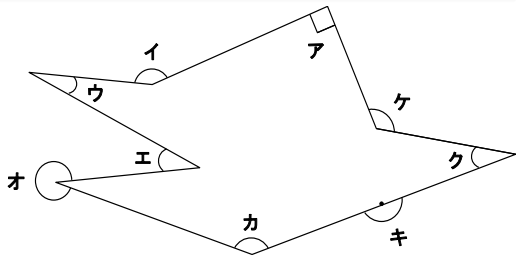
◆指導にあたって

☆基本的な数学用語を正しく理解し，それらを用いて互いに説明し合う活動を取り入れる。

参考　意味理解／数学用語　**正答率**　【大阪府学力テスト】より

A問題　B問題　C問題

A2年生 7 内角の和を求める式

ア 180°×5−180°
イ 180°×6−360°
ウ 180°×2+360°
エ 180°×4

B2年生 11 ∠xを求める（錯角）

C1年生 4 ∠x+∠y の値を求める（対頂角）

表現・処理　73.7%　62.9%　55.3%

図形 角

知識・理解　53.8%　47.3%　38.2%

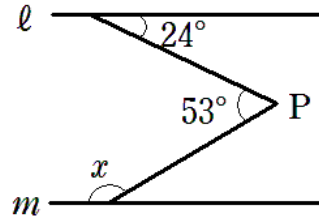
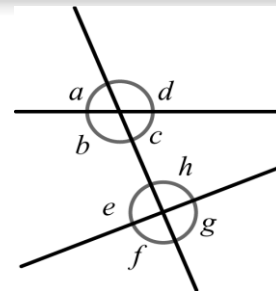
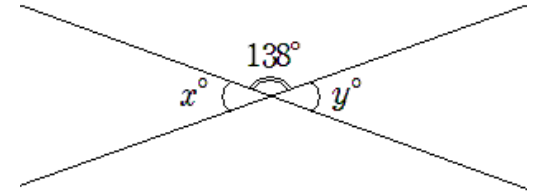
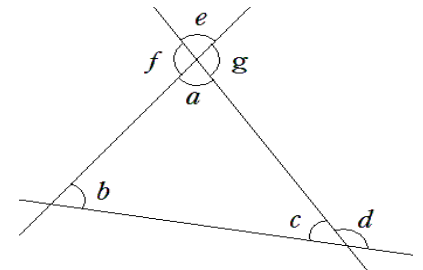
イ ア ウ ケ エ ク オ カ キ

B3年生 4 鈍角を選ぶ

a d b c h e g f

B2年生 12 ∠bの同位角を選ぶ

C2年生 7 (1)∠aの外角を選ぶ

数学

一次関数の式とグラフの関係を理解している

数量、図形などについての知識・理解

A 11 (2)　一次関数 $y=\frac{1}{3}x-2$ について、グラフが y 軸と交わる点の座標を求めなさい。

誤答率41.2%

参考資料

9　点（2，3）を解答用紙の図の中に，●印で示しなさい。

正答率73.4%

【H21全国学力・学習状況調査　数学A】

誤答率36.8%　表現・処理

【大阪府学力テスト2年生　B問題】

5　$2x+y=10$

二元一次方程式をグラフにする。
傾きと切片の正しい組み合わせを選ぶ。

【傾き】	① 2	② −2	③ $\frac{1}{2}$	④ $-\frac{1}{2}$
【切片】	⑤ 10	⑥ −10	⑦ 5	⑧ −5

ア ②と⑤　イ ②と⑧　ウ ①と⑤　エ ④と⑥　オ ①と⑥

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕 C　数量関係

（1）具体的な事象の中から二つの数量を取り出し，それらの変化や対応を調べることを通して，一次関数について理解するとともに，関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。

イ　一次関数のとる値の変化の割合とグラフの特徴を理解するとともに，一次関数を利用できること。

A問題中
無解答率が最も高い

短答式 選択式	正答率%	無解答率%
A 11 (2)	31.8	27.0
府2B 5	58.2	5.0

考えられる課題

●「切片」の意味の理解
●「座標」の意味の理解とその表現法

◆指導にあたって

☆基本的な数学用語を使って，事象を説明し合うような場面を設定する。

☆基本的な用語の意味を，図やグラフ上でその特徴を理解させる。

数学　関連する数値を取り上げ、的確に処理ができる

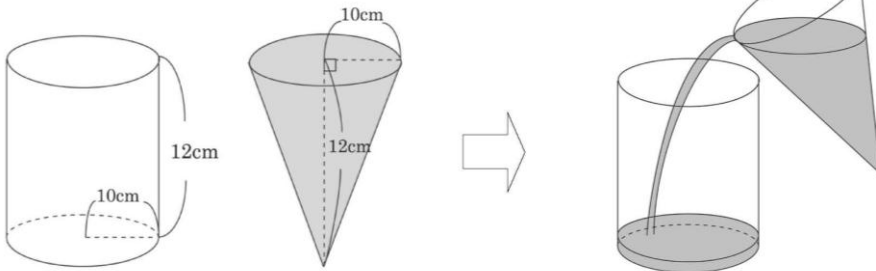
数学的な表現・処理

誤答率52.9%

A 5

(3) 下図のように，底面の半径が10cm，高さが12cmの円柱と円すいの容器があります。円すいの容器いっぱいに入った水を円柱の容器に移します。
このとき，円柱の容器に入る水の深さを求めなさい。

誤答率75.0%・見方や考え方

B 5

(2) さらに牛乳をコップに入れていき，パックを傾けると，残りが**図3**のようになりました。このとき，牛乳の量は**図1**のときのおよそ何分のいくつになりますか。

ア　3分の1
イ　4分の1
ウ　6分の1
エ　8分の1

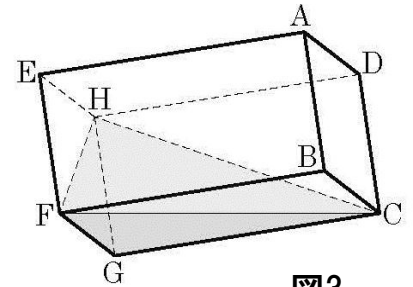



図3

【学習指導要領との関連】

〔第1学年〕 B　図形

（2）　図形を観察，操作や実験を通して考察し，空間図形についての理解を深める。また，図形の計量についての能力を伸ばす。

ウ　扇形の弧の長さと面積及び基本的な柱体，錐体の表面積と体積を求めることができること。

「短答式」のA区分問題中誤答率が最も高い

短答式 選択式	正答率%	無解答率%
A 5 (3)	33.7	13.4
B 5 (2)	22.4	2.6

考えられる課題

●錐体と柱体の体積の関係の理解
●関連する数値を取り上げ，的確に処理をする力

◆指導にあたって

☆錐体や柱体の体積を実際の操作によって求める場面を設定する。
☆個々の図形を関連付けて，多面的に考察し，それぞれの特徴を理解させる。

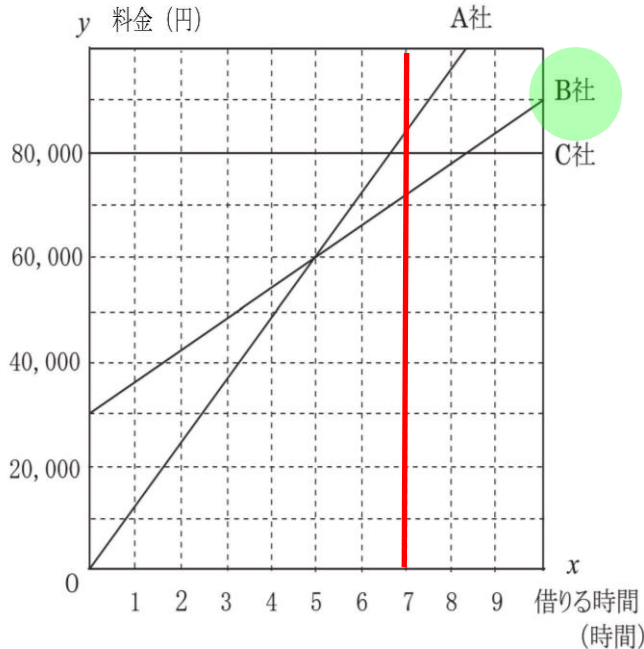
数学

情報を選択し、判断ができる　（正答率が高い「表現・処理」の問題）

数学的な表現・処理

A 12

(2)　バスを7時間借りたとき料金が一番安くなる会社はどこですか。

ア　A社
イ　B社
ウ　C社
エ　このグラフからは判断できない

類題　見方や考え方

【H22全国学力・学習状況調査　数学B】

Tシャツ35枚のプリント料金が最も安い店はどこか，**計算をせずグラフを見て判断する方法を説明せよ**。

正答例

3つのグラフの中で，x の値が35のときの y の値が最も小さいグラフで表された店を選ぶ。

全問題中、正答率は4番目に高い

選択式 記述式	正答率%	無解答率%
A 12 (2)	83.0	2.4
全国22B	24.2	38.3

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕C　数量関係

（1）　具体的な事象の中から二つの数量を取り出し，それらの変化や対応を調べることを通して，一次関数について理解するとともに，関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。

イ　一次関数のとる値の変化の割合とグラフの特徴を理解するとともに，一次関数を利用できること。

考えられる課題

●思考過程の言語化

◆指導にあたって

☆結果にいたる処理の過程を，自分の言葉でまとめ，互いに説明し合う活動を取り入れる。

予想が正しいことを、文字式を用いて説明できる

数学的な見方や考え方

B 2 (1) ②

予 想

「3でわると1余る数」と「3でわると2余る数」の和は3の倍数になる

この予想が正しいことを文字式と言葉を用いて説明しなさい。

記述式	正答率%	無解答率%
B 2 (1)②	44.1	29.3

「記述式」で正答率が最も高い

考えられる課題

●「～の倍数」を表す文字式の構成の理解

●連続数と非連続数の表記法の違いに関する理解

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕 A 数と式

（1） 事象の中に数量の関係を見いだし、それを文字を用いて式に表現し活用する能力を伸ばすとともに，文字を用いた式の四則計算ができるようにする。

イ 数量及び数量の関係をとらえるために文字式を利用できることを理解すること。

◆指導にあたって

☆倍数の構成は，整数の場合も文字式の場合も同じであることを理解させる。

☆立てた式に，複数の数値を代入させ，それらを観察することで文字の用い方を見直す機会を設定する。

参考資料 【全国学力・学習状況調査より】

過去４年の類題

年度	類題		正答率	無解答率
H22年度	連続する３つの奇数の和は３の倍数になる。	大阪府	23.0	33.7
		22全国	24.3	29.1
H21年度	連続する自然数から規則的に求めた数は４の倍数になる。	大阪府	36.1	23.4
		21全国	40.6	17.8
H20年度	位の数を入れ替えた２つの自然数の和は11の倍数になる	大阪府	34.5	33.7
		20全国	38.5	27.7
H19年度	連続する５つの自然数の和は５の倍数になる	大阪府	38.4	36.9
		19全国	40.9	29.2

与えられた情報や条件をもとに、判断した理由を説明できる

数学的な見方や考え方

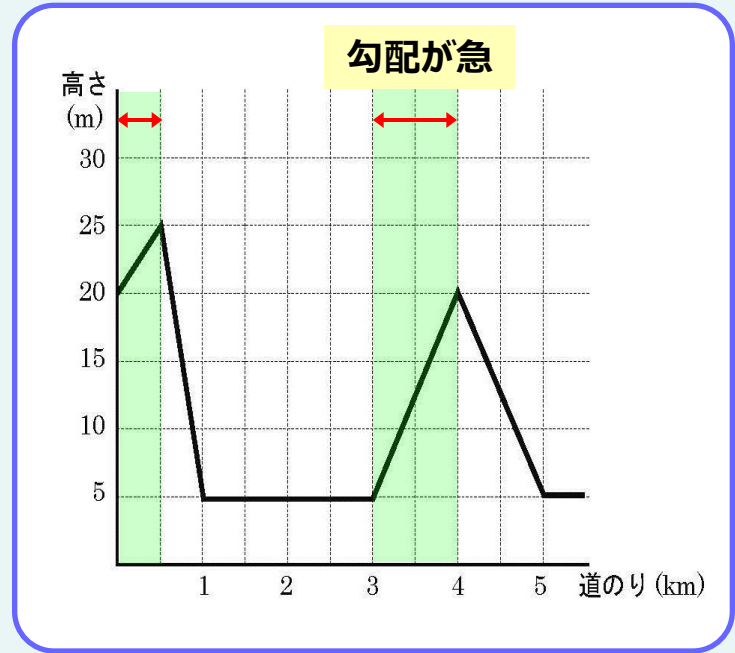
B 3

(3) 太郎さんは，右図のように，スタートから5km地点の間をおおむねの高低図で表してみました。次の①～③の条件をもとに速さについて考えるとき，速さが最も遅くなるのは，何 km と何 km の間ですか。また，そう考えた理由もかきなさい。

① 走る速さは，平地では一定になるものとします。

② 走る速さは，上り坂のときに遅くなり，下り坂では速くなります。

③ その速さの変化は，高低の変化の割合が大きいほど大きくなります。

「3～4km」を選んだ解答は全体の52.4 %

誤答率69.9%

記述式	正答率%	無解答率%
B 3 (3)	16.1	14.0

「記述式」で無解答率が最も低い

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕 C 数量関係

（1） 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し，それらの変化や対応を調べることを通して，一次関数について理解するとともに，関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。

イ 一次関数のとる値の変化の割合とグラフの特徴を理解するとともに，一次関数を利用できること。

考えられる課題

●思考過程の言語化

◆指導にあたって

☆複数の情報を比較検討し，判断した理由を自分の言葉で表現するような場面を設定する。

☆判断した内容が正しいこと確認する機会を設定し，数学的に考えるよさを実感させる活動を取り入れる。

数学

空間図形の構成を、「底面」に着目して説明できる

数学的な見方や考え方

B 5

(1)　牛乳をコップに入れていくと，残りが**図2**のようになりました。このとき，牛乳の量は，**図1**のときのおよそ2分の1であることがわかります。

その理由を「底面積」という言葉を使ってかきなさい。

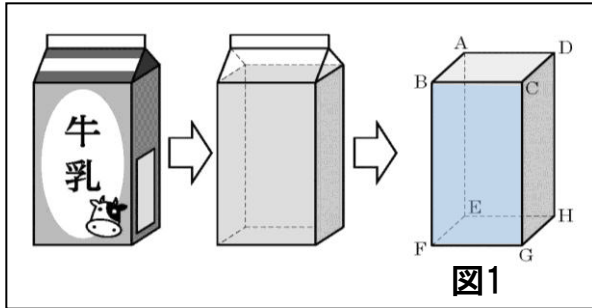
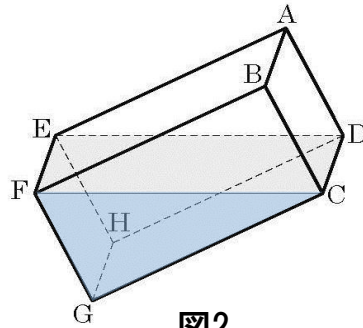
図1

図2

誤答率66.9%　表現・処理

A 5

(2)　下図のように直方体から一部分を切り取った立体があります。この立体は，ある面をそれと垂直な方向に平行移動させても作ることができます。どの面を平行移動すればこの立体ができますか。

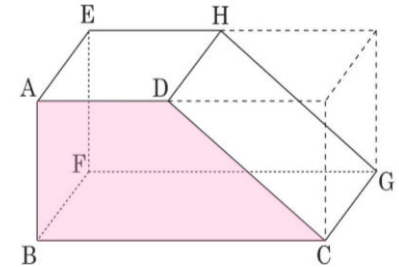
ア　面ABFE
イ　面ABCD
ウ　面ADHE
エ　面DCGH

【学習指導要領との関連】

〔第1学年〕 B　図形

（2）　図形を観察，操作や実験を通して考察し，空間図形についての理解を深める。また，図形の計量についての能力を伸ばす。

イ　空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されているものととらえたり空間図形を平面上に表現したりすることができること。

無解答率が全問題中最も高い

記述式 選択式	正答率%	無解答率%
B 5 (1)	18.3	48.0
A 5 (2)	30.6	2.5

考えられる課題

●柱体の「底面の定義」の理解
●空間図形の構成の理解

◆指導にあたって

☆柱体は平面図形（底面）の平行移動によって構成されるという見方を養うような場面を設定する。

☆空間図形の見取図と展開図と投影図の関係に着目して，実際にそれらをかく活動を取り入れる。

中学校３年生

23

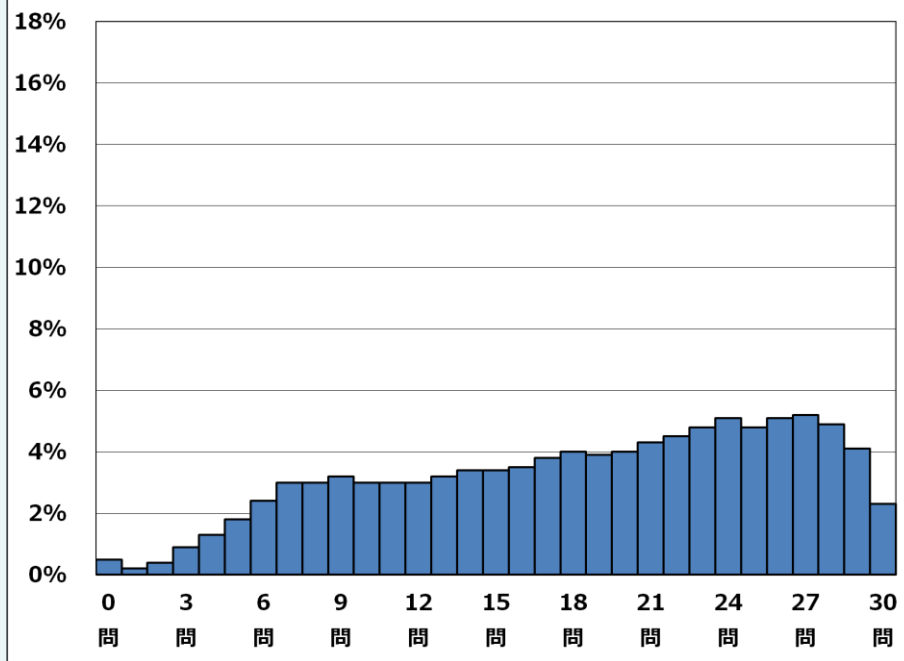
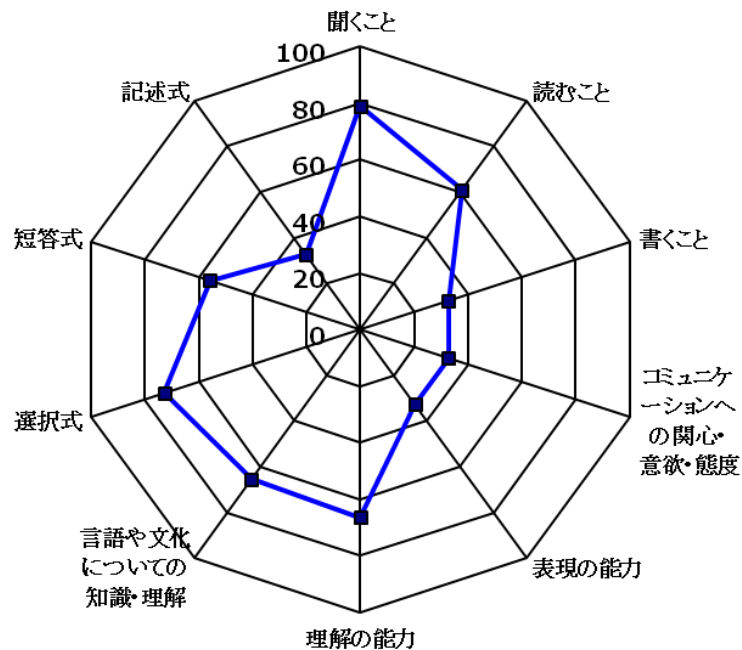
全問題数	30問
正答率	61.1%
誤答率	29.9%
無解答率	9.0%

中学校
領域別 観点別 形式別 正答率一覧表
（府内公立）

分類	領域・観点・形式	平均正答率
学習指導要領の領域等	聞くこと	79.0%
	話すこと	***
	読むこと	61.0%
	書くこと	32.7%
評価の観点	関心・意欲・態度	32.7%
	表現の能力	32.7%
	理解の能力	66.4%
	知識・理解	65.4%
問題形式	選択式	72.9%
	短答式	55.9%
	記述式	32.7%

設問別調査結果（府内公立）

	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	97.1	2.3	0.6
2	1(2)	87.6	11.7	0.7
3	1(3)	90.0	9.3	0.7
4	1(4)	87.8	11.5	0.7
5	2(1)	89.3	9.9	0.8
6	2(2)	63.5	35.5	1.0
7	2(3)	79.5	19.6	0.9
8	2(4)	37.0	61.8	1.2
9	3(1)	52.0	47.1	0.9
10	3(2)	62.1	36.8	1.1
11	4①	36.1	46.5	17.4
12	4②	57.8	26.3	15.9
13	5①	61.4	23.8	14.8
14	5②	45.8	33.8	20.4
15	6(1)	65.9	21.9	12.2
16	6(2)	23.4	60.3	16.3
17	7(1)	69.2	14.6	16.2
18	7(2)	73.8	9.7	16.5
19	7(3)	69.9	13.8	16.3
20	8(1)	69.3	28.6	2.1
21	8(2)	74.8	22.9	2.3
22	8(3)	83.3	14.6	2.1
23	9(1)	67.2	30.3	2.5
24	9(2)	70.4	27.1	2.5
25	9(3)	55.5	41.7	2.8
26	10(1)	32.0	51.9	16.1
27	10(2)	42.8	40.5	16.7
28	10(3)	15.3	61.3	23.4
29	10(4)	36.6	40.3	23.1
30	11	36.7	41.6	21.7

中学校　第3学年　英語

平成23年度 大阪府学力・学習状況調査
ヒストグラム＋レーダーチャート（府内公立）

問いかけに対する適切な応答を考える

理解の能力

2　これから流れる（1）～（4）の会話を聞いて、最後の発言に続く応答として最も適しているものを、それぞれア～エのうちから1つずつ選びなさい。
＊（4）のみ掲載

（4）リスニング問題スクリプト

☆:　What are you going to do next Saturday?
★:　My mother and I are going to visit my brother.
☆:　Where does he live?
★:　In Tokyo.
☆:　Does he work there?

ア　No, he is a student.
イ　No, he likes to cook.
ウ　No, he has a brother.
エ　No, he went yesterday.

「エ」を選んだ解答は全体の**31.4%**

【学習指導要領との関連】

［ア　聞くこと］

ウ　質問や依頼などを聞いて適切に応じること。

選択式	正答率%	無解答率%
2（4）	37.0	1.2

正答率は「聞くこと」を問う問題で最も低い

考えられる課題

●疑問詞を用いた疑問文の理解

●相手の発言の意図をとらえ適切に応答する力

◆指導にあたって

☆日頃から英語を用いたコミュニケーション活動を行い，英文の解釈だけでなく，場面や相手の意向に即した応答をできるようにさせる。

☆相手の発言は，質問だけではなく依頼や提案もあり，直接的な言い方をすることもあれば，状況によっては間接的にほのめかすこともある。従って，様々な場面を想定した会話の例を提示し，文の形式に注目するよりも，相手の発言の意図や内容を考える機会を増すよう心がける。

文脈に即した語句を使う

理解の能力

4 次は、健(Ken)と留学生のメアリー(Mary)との会話です。下線部①と②の(　　)に入る最も適している英語を、それぞれ1語ずつ解答欄に書きなさい。ただし、最初の文字が指定されているので、その字で始まる英語を書きなさい。

Ken: Are you free next Sunday, Mary?
Mary: I'll study in the ①(m______). But I'm free in the afternoon.
Ken: I see. Let's go to Osaka Castle in the afternoon.
Mary: Sure. ②(W________)(t________)will we meet?
Ken: At two o'clock. Is that OK?
Mary: Yes. See you then.

（注）Osaka Castle 大阪城

短答式	正答率%	無解答率%
4 ①	36.1	17.4
4 ②	57.8	15.9

①の正答率は「読むこと」を問う問題で2番目に低い

考えられる課題

●接続詞や類似する表現から文脈に即した語句を選ぶ力

【学習指導要領との関連】

［ウ　読むこと］

ウ　物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。

◆指導にあたって

☆日頃からある程度まとまりのある会話文を読むなどして，その内容や書き手（話し手）の意向などを理解する活動を取り入れる。

☆生徒の身近な暮らしにかかわることについて，英語で表現する場合どのような単語や語句を使って文を作り，発信したらよいかを考えさせるよう指導する。

資料の中から必要な情報を把握する

理解の能力

6 留学生のメアリー（Mary)は、明日、絵美（Emi)と健（Ken)とハイキングに行きます。メアリーは、電車の時刻表(Train Schedule)を見ながら待ち合わせの時間などを確認するために、二人へメールを送りました。（1）と（2）の下線部に入る最も適している英語を、次のメールや時刻表から1語ずつ解答欄に書きなさい。

I will take the train from Kansai Station.
I will meet Emi at Kinki Station, and then we will go to Hanshin Station and meet Ken there at 8:00.

（注） take 乗る　train 電車

Train Schedule

	Kansai Station	Kinki Station	Hanshin Station
Red Train	7:30	7:40	7:55
Green Train	7:40	—	7:50
Blue Train	7:50	8:00	7:15

(1) Where will Mary meet Emi?
She will meet Emi at________________Station.
(2) Which train will Mary take?
She will take the________________Train.

【学習指導要領との関連】

［ウ　読むこと］

ウ　物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。

エ　伝言や手紙などから書き手の意向を理解し，適切に応じること。

短答式	正答率%	無解答率%
6 (1)	65.9	12.2
6 (2)	23.4	16.3

(2)の正答率は全問中2番目に低い

考えられる課題

●本文と資料の両方から必要な情報を選ぶ力

◆指導にあたって

☆様々な形式の資料から必要な情報を読み取る活動や，本問題のように英文と資料という複数の媒体から得た情報を照らし合わせて，適切な判断を下すような練習をさせる場面を設定する。その際，実際の生活場面に即した内容となるよう配慮する。

適切な疑問詞を用いて文を作成する

表現の能力

10 あなたは、新しく来たホワイト先生（Ms.White)を、学校新聞で紹介するために、授業で次の質問をすることになりました。例にしたがい、(1)～(4)のそれぞれで、【語句リスト】の語句を少なくとも1つずつ使い、英文を完成させなさい。なお、【語句リスト】の語句を何度用いてもかまいません。

(1) いつ日本に来たのか。
(2) どこの出身なのか。
(3) 週に何日、わたしたちの学校に来るのか。
(4) 自由な時間には何をするのか。

(1) ________________________________ to Japan ?
(2) ________________________________ ?
(3) ____________________ to our school every week ?
(4) __________________________ in your free time ?

例　先週の日曜日に何をしたのか
what did you do last Sunday?

【語句リスト】
what　when　how many　where　from　days　are

記述式	正答率%	無解答率%
10 (1)	32.0	16.1
10 (2)	42.8	16.7
10 (3)	15.3	23.4
10 (4)	36.6	23.1

4問の平均正答率(31.9)は全大問中最も低い／(3)の無解答率は全問中最も高く, (4)は2番目に高い

考えられる課題

●疑問詞を用いた疑問文の理解

●Howを用いた文の理解

◆指導にあたって

☆疑問詞を用いてどのように英文を組み立てたらよいか考える活動場面を設定する。

☆文の構造などの形式を身につけさせるだけではなく, 実際にそれを使って相手から情報を引き出すことができるようにさせる練習の機会を設ける。

【学習指導要領との関連】

［ウ　書くこと］

ウ　自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと。

英語

自分の考えやその理由を書く

表現の能力

記述式	正答率%	無解答率%
11	36.7	21.7

正答率は「書くこと」を問う問題の中で4番目に低い
無解答率は全問3番目に高い

11 あなたは、ホワイト先生（Ms.White)の授業で、次のテーマに関して発表することになりました。例にしたがい、テーマに対する自分の考えとその理由を、英語で書きなさい。なお、英文を作る時、【ヒント】にある語句を用いてもかまいません。

テーマ Which season do you like better, summer or winter?

例 ＜テーマ＞ Which subject do you like better, music or English?
＜自分の考えとその理由＞
I like music better because I can play the guitar.

【ヒント】				
	cold	baseball	beach	eat
	favorite	skiing	books	play
	hot	snowboarding	Christmas	read
	long	soccer	ice cream	visit
		swimming	vacation	
		tennis	weather	
		volleyball		

（注） skiing スキー snowboarding スノーボード volleyball バレーボール beach 浜辺 Christmas クリスマス ice cream アイスクリーム

考えられる課題

●内容的にまとまりのある文章を書くことが身についていないこと

●「書くこと」への意欲・関心が低いこと

◆指導にあたって

☆自分の考えを相手に伝える際には，その理由や根拠も併せて提示するなどといった書き方のポイントを，例を示すなどして指導する。

☆文章単位で情報を加えていく際，話の展開に応じてand，then，but，because，soなどの接続詞を用いることによって読み手が話の内容を理解しやすくなり，より正確に情報を伝えることができることも生徒に意識させる。

【学習指導要領との関連】

［ウ 書くこと］

ウ 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと。